

Web GUI

概要・基本設定	5
設定環境	5
設定の準備	5
画面構成	7
トップエリア	8
メニューエリア	8
メインエリア	10
コピーライトエリア	11
メインエリアの操作方法	11
現在の設定の保存	12
設定の終了	13
HTTP サーバー機能の無効化	13
コマンドラインインターフェースとの機能の違い	14
システム設定	15
システム	15
システム設定	15
IP 設定	15
パスワード	16
時間	17
システム時間	18
NTP	18
SNMP	19
SNMP 基本設定	19
SNMP コミュニティーの作成	20
SNMP コミュニティーの設定変更	22
SNMP コミュニティーの削除	22
ログ	22
ログ設定	23
アクセスフィルター	24
サービス設定	24
エントリーの追加	25
エントリーの設定変更	26
エントリーの削除	26
その他	26

ユーザーインターフェース	27
FTP サーバー	28
TFTP サーバー	28
スイッチ設定	29
ポート	29
省電力モード	29
ポート一覧	29
ポート設定	30
ポートステータス表示	31
プロテクション	32
パケットストームプロテクション設定	33
ポート設定	33
パケットストームプロテクション設定	33
ミラーリング	34
トランキング	35
トランクグループの作成	36
トランクグループの設定変更	37
トランクグループの削除	37
バーチャル LAN	37
バーチャル LAN 設定	38
マルチプル VLAN 設定	40
スパニングツリー	42
ステータス	43
基本設定	43
ポート設定	44
IGMP Snooping	46
設定	47
対象 VLAN 一覧	47
IP マルチキャストアドレス一覧	48
QoS	49
QoS 基本設定	50
DSCP 設定	50
ポートプライオリティ	52
LDF 検出	53
ポート設定	54
受信レート検出	55
ポート設定	56
EPSR	57
EPSR ドメイン-追加	58
EPSR ドメイン-変更	60
MLD Snooping	61
設定	62

対象 VLAN 一覧	62
マルチキャストグループ一覧	63
その他	64
フォワーディングデータベース	65
BPDU パケット透過	65
EAP パケット透過	65
セキュリティ設定	67
ポートセキュリティ	67
ポート一覧	67
ポートセキュリティ設定	67
RADIUS サーバー	68
RADIUS アカウント設定	69
RADIUS クライアント設定	70
RADIUS サーバー設定	70
ポート認証	71
ポートアクセス設定	72
ポート設定	72
Supplicant MAC 透過設定	76
機器監視	78
システム情報	78
ポートの状態表示	78
ポートステータス表示	79
システム情報の自動更新	80
システム情報/ハードウェア情報	81
詳細情報	81
ログ	82
ログカウンター	83
ログ表示条件	83
統計カウンター	84
スイッチカウンター	84
ポート一覧	85
ポートカウンター表示	85
FDB	86
FDB 表示条件	87
スタティックエントリー登録	88
スタティックエントリー削除	89
全ダイナミックエントリー削除	89
LDF 検出	89
受信レート検出	90
EPSR	91
EPSR カウンター表示	92
IGMP Snooping	93

MLD Snooping	94
マネージメント	96
ポートリセット	96
リセットポート選択	96
コンフィグファイル	96
設定ファイル	97
設定保存	97
設定表示	98
ファイル管理	98
ファイル一覧	100
設定ファイルの転送	101
ファームウェアの更新	101
再起動	101

概要・基本設定

本製品は、Web ブラウザーを利用したグラフィカル・ユーザー・インターフェース（GUI）をサポートしています。Web ブラウザーから本製品にアクセスして、設定の変更や参照を行うことも可能です。Web GUI の使用について説明します。

設定環境

本製品で Web GUI を使用する場合は、下記の環境でご使用ください。

- 対応 OS は、Windows XP および Windows Vista、Web ブラウザーは、Microsoft Internet Explorer 6.0（Windows 版）以上を使用してください。
 - 1024 × 768 以上の解像度のモニターを使用して頂くことをおすすめします。
 - ファイル管理は、Internet Explorer の HTTP 機能を利用します。
- ※ 1024 × 768 以上の解像度のモニターでない場合、一部のフレームが表示されないことがあります。
- ※ 「ポップアップをブロックする」が有効な場合、本機能を使用することはできません。[ツール]メニューの「インターネットオプション」を選択し、「プライバシー」の「ポップアップ ブロック」の設定において、本製品の IP アドレスを許可する設定としてください。

設定の準備

本製品の Web GUI 機能を使用するためには、まず、下記の設定を行います。

- 本製品の IP アドレスを設定する
 - 本製品の HTTP サーバー機能を有効にする
- ※ Web GUI を使用するには、あらかじめコンソールターミナルからログインし、本製品に IP アドレス等を設定しておく必要があります。IP の設定については、「IP」の章をご覧ください。HTTP サーバー機能については、「運用・管理」/「HTTP サーバー」をご覧ください。

本製品にアクセスする手順は、下記のとおりです。

1. Web ブラウザーを起動します。
2. 「アドレス」に、スイッチの IP アドレスを入力し、「Enter」キーを押します。
3. パスワードの入力ダイアログボックスが表示されます。
「ユーザー名」と「パスワード」を入力します。ここでは、デフォルト設定の「manager」と「friend」を入力するものとします。入力したら、「OK」をクリックします。



The image shows a login dialog box for the GS900M series. It has a blue header with a key icon. The main area is light gray and contains the following elements:

- Text: "GS900M series"
- Label: "ユーザー名(U):" (Username)
- Text field: "manager" (with a dropdown arrow)
- Label: "パスワード(P):" (Password)
- Text field: "*****" (masked password)
- Checkbox: ☐ パスワードを記憶する(R) (Remember password)
- Buttons: "OK" and "キャンセル" (Cancel)

4. ログインに成功すると、下記の画面が表示されます。


CentreCOM GS916M

機器監視 - システム情報

Version 1.6.0 MAC Addr: 00-09-16-00-00-02

保存 終了

- システム設定
- スイッチ設定
- セキュリティ設定
- 機器監視
 - システム情報
 - ログ
 - 統計カウンター
 - FDB
 - LDF検出
 - 受信レート検出
 - EPSR
 - IGMP Snooping
 - MLD Snooping
- マネージメント



表示更新 自動更新 ☒ する ☐ しない 更新回数 1 [1-99] (分) 設定

システム情報

SysDescription	CentreCOM GS916M Ver 1.6.0 B07
SysContact	
SysLocation	
SysName	
SysUpTime	121429(00:20:14)
Release Version	1.6.0
Release built	B07 (Nov 14 2008 at 14:59:25)

ハードウェア情報

DRAM	32768 kB
Flash	8192 kB
MAGアドレス	00-09-16-00-00-02

Flash PROM	RAM	SW chip	UART	温度	FAN1	FAN2
Good	Good	Good	Good	Normal	Normal	Normal

電圧

1.25V	1.8V	2.5V	3.3V	5.0V
Normal	Normal	Normal	Normal	Normal

詳細情報表示 詳細情報保存

Allied Telesis

Copyright©2008 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

- ㄨ デフォルトのパスワードを使い続けることはセキュリティ上好ましくありませんので、初回ログイン時に変更することをおすすめします。詳細は「運用管理」/「システム」をご覧ください。
- ㄨ 本製品は、同時に複数のユーザーが、Web インターフェースからログインすることが可能です。一方のユーザーが設定を変更した後に、別のユーザーが同じ設定を変更した場合、設定は上書きされますのでご注意ください。

画面構成

設定画面は、下記の4つのエリアで構成され、それぞれフレームで分割されています。

トップエリア

トップエリア（画面上部のフレーム）には、製品名、現在選択されているメニューの項目、ファームウェアバージョン、本製品の MAC アドレスが表示されます。

現在選択されている項目は、「大項目 - 小項目」の形式で表示されます。

大項目として表示されるのは、メニュー項目をグループ単位で分割するグループ名です。小項目として表示されるのは、メニュー項目の最小単位の機能名です。どちらも、後述のメニューエリアにも表示されます。

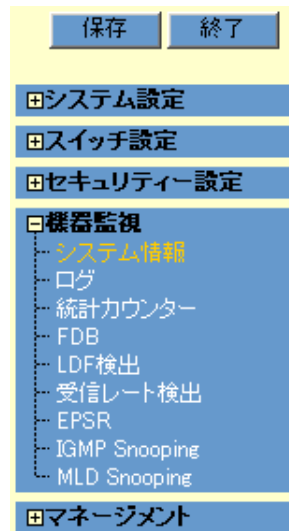
メニューエリア

メニューエリア（画面左のフレーム）には、メニューがツリー状に表示されます。

メニューの大項目（グループ名）をクリックすると、小項目が表示されます。

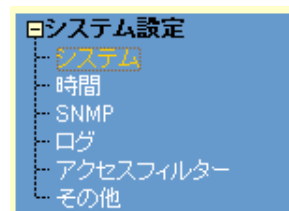
小項目（機能名）をクリックすると、選択された項目は黄色で表示され、後述のメインエリアに、その機能

に関する設定項目や現在の設定状態が表示されます。

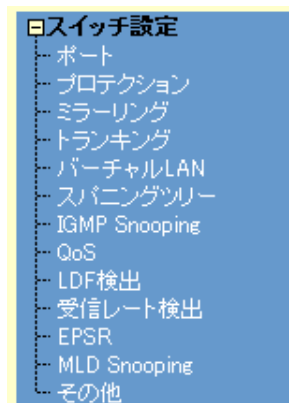


メニューの大項目は、下記のとおりです。

システム設定（詳細は、「システム設定」をご覧ください）



スイッチ設定（詳細は、「スイッチ設定」をご覧ください）



セキュリティー設定（詳細は、「セキュリティー設定」をご覧ください）

■セキュリティ設定

- └ ポートセキュリティ
- └ RADIUSサーバー
- └ ポート認証

機器監視（詳細は、「機器監視」をご覧ください）

■機器監視

- └ システム情報
- └ ログ
- └ 統計カウンター
- └ FDB
- └ LDF検出
- └ 受信レート検出
- └ EPSR
- └ IGMP Snooping
- └ MLD Snooping

マネージメント（詳細は、「マネージメント」をご覧ください）

■マネージメント

- └ ポートリセット
- └ コンフィグファイル
- └ ファイル管理
- └ 再起動

メニューの上には、「保存」、「終了」の2つのボタンがあります。

2つのボタンの機能は次のとおりです。

- 「保存」: 現在の設定内容（メモリー上の設定内容）をスクリプトファイルに保存します
- 「終了」: 表示しているウィンドウを閉じ、操作を終了します

メインエリア

メインエリア（画面右のフレーム）には、メニューエリアで選択した小項目（機能名）に関する、設定項目や現在の設定状態が表示されます。

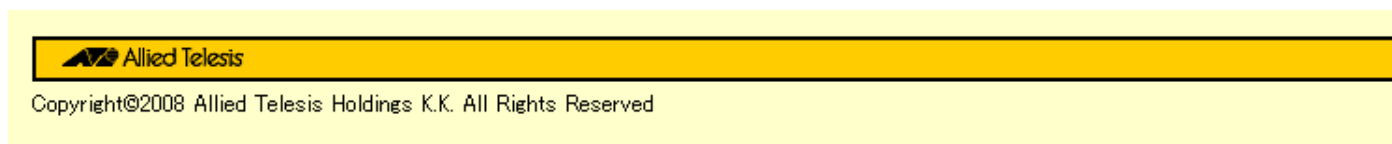
メインエリアでの基本的な操作方法については、後述の「メインエリアの操作方法」を参照してください。

<p>システム設定</p> <p>システム名(SysName) <input type="text"/></p> <p>設置場所(SysLocation) <input type="text"/></p> <p>責任者(SysContact) <input type="text"/></p> <p style="text-align: right;"> <input type="button" value="設定"/> <input type="button" value="リセット"/> </p>	<p>IP設定 (※本設定を行うと、本体との通信ができなくなる可能性があります)</p> <p>IPアドレス(IP) <input type="text" value="192"/> . <input type="text" value="168"/> . <input type="text" value="1"/> . <input type="text" value="105"/> (Static)</p> <p>サブネットマスク(SubnetMask) <input type="text" value="255"/> . <input type="text" value="255"/> . <input type="text" value="255"/> . <input type="text" value="0"/></p> <p>ゲートウェイアドレス(Gateway) <input type="text" value="192"/> . <input type="text" value="168"/> . <input type="text" value="1"/> . <input type="text" value="101"/></p> <p>インターフェース(VLAN) <input type="text" value="default"/></p> <p style="text-align: right;"> <input type="button" value="設定"/> <input type="button" value="リセット"/> </p>
--	--

パスワード

コピーライトエリア

コピーライトエリア（画面下部のフレーム）には、弊社のロゴとコピーライトが表示されます。



メインエリアの操作方法

メインエリアでよく使用するボタンなどの操作方法是、次のとおりです。

「設定」ボタン

「設定」ボタンをクリックすると、設定の変更が本製品に反映されます。

ただし、「設定」ボタンをクリックしただけでは、設定内容はスクリプトファイルに保存されませんので、本製品を再起動すると、設定は元に戻ってしまいます。

設定内容をスクリプトファイルに保存するには、メニューエリアの上にある、「保存」ボタンをクリックしてください。

次の設定の変更は、再起動後に有効になります。次の設定を変更した場合は、本製品を再起動してください。

- ポートランキング
- VLAN モード

- 「設定」ボタンをクリックして設定を変更すると、メニューエリアの「保存」ボタンの色が赤くなります。設定を保存する必要がある場合は、「保存」ボタンをクリックするのを忘れないようにしてください。

「リセット」ボタン

「リセット」ボタンをクリックすると、設定の変更や入力した値が、変更前の状態に戻ります。

- 設定の変更や値の入力後に「設定」ボタンを押した場合は、変更前の状態には戻りません。

「追加」ボタン

グループやエントリーを追加します。設定のダイアログボックスが表示されますので、そこで必要な設定を行います。

- ここで表示される設定項目には、デフォルトの設定値が表示されます。

「変更」ボタン

グループやエントリーの設定を変更します。設定のためのダイアログボックスが表示されますので、そこで必要な変更を行います。

- ここで表示される設定項目には、現在の設定値が表示されます。

「削除」ボタン

グループやエントリーを削除します。

その他の操作方法については、各メニューの説明を参照してください。

現在の設定の保存

設定の変更を行い、メニューエリアの「設定」ボタンをクリックすると、設定の変更は、ただちに、本製品に反映されます。

ただし、「設定」ボタンをクリックしただけでは、設定内容はスクリプトファイルに保存されませんので、本製品を再起動すると、設定は元に戻ってしまいます。

次の起動時以降も現在と同じ設定を使いたい場合は、設定内容を設定ファイルとして保存し、起動時にそのファイルを使用するように指定しなければなりません。

設定内容を設定ファイルに保存するには、メニューエリアの上にある、「保存」ボタンをクリックしてください。

- 「設定」ボタンをクリックして設定を変更すると、メニューエリアの「保存」ボタンの色が赤くなります。設定を保存する必要がある場合は、「保存」ボタンをクリックするのを忘れないようにしてください。

「保存」ボタンをクリックすると、「コンフィグレーション保存」が表示されます。

次の3つの保存方法の中から1つを選択し「設定」ボタンをクリックすると、現在の設定内容が設定ファイルに保存されます。

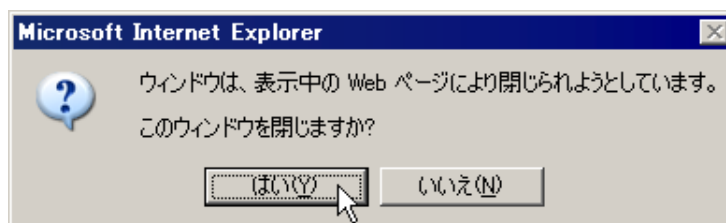
「キャンセル」ボタンをクリックすると、設定は保存されません。

- 「起動時設定ファイルに保存する」: 「起動時設定ファイル」に設定されている設定ファイルに、設定を保存
- 「既存ファイルに保存する」: 選択したファイルに設定を保存
- 「新規ファイルに保存する」: ファイルを新規に作成し、設定を保存

設定の終了

Web GUI による設定を終了する場合は、メニューエリアの「終了」ボタンをクリックします。

「終了」ボタンをクリックすると、終了確認のダイアログボックスが表示されます。



「はい」ボタンをクリックすると、ウィンドウが閉じられます。

「いいえ」ボタンをクリックすると、元の設定画面に戻ります。

HTTP サーバー機能の無効化

Web GUI を使用しない場合は、セキュリティを高めるために、HTTP サーバー機能を無効にしてください。
HTTP サーバー機能については、「運用・管理」/「HTTP サーバー」をご覧ください。

コマンドラインインターフェースとの機能の違い

コマンドラインインターフェースで可能なことは、Web GUI でも基本的には可能ですが、次の項目については、Web GUI では実行することができません。

- PING
- DHCP クライアント機能の有効/無効
- SNTP モジュールの設定消去
- SNTP モジュールのリセット
- ログ設定の削除
- ログメッセージの削除
- コンソール（ログインセッション）の 1 画面当たりの表示行数の設定
- スパニングツリープロトコルの設定消去
- QoS の設定/消去
- フラッシュメモリーの初期化
- ファイルのコピー
- ファイルの削除
- 指定したファイルの内容表示
- スクリプトの実行
- コマンド入力の補完機能の設定
- 表示コマンドの一部の項目が表示されない

システム設定

システム

システム情報や IP アドレス情報に関する設定、および、ログインパスワードの設定を行います。

システムの詳細については、「運用・管理」/「システム」をご覧ください。

「運用・管理」/「システム」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも同じことができます。

CentreCOM GS916M

システム設定 - システム

Version 1.6.0 MAC Addr: 00-09-16-00-00-02

保存 終了

システム設定

- システム
- 時間
- SNMP
- ログ
- アクセスフィルター
- その他

スイッチ設定

セキュリティ設定

機器監視

マネージメント

システム設定

システム名 (SysName)

設置場所 (SysLocation)

責任者 (SysContact)

設定 リセット

IP設定 (※本設定を行うと、本体との通信ができなくなる可能性があります)

IPアドレス (IP)

0 . 0 . 0 . 0 (Static)

サブネットマスク (SubnetMask)

0 . 0 . 0 . 0

ゲートウェイアドレス (Gateway)

0 . 0 . 0 . 0

インターフェース (VLAN)

設定 リセット

パスワード

変更

Allied Telesis

Copyright©2008 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

システム設定

システム名などの設定を行います。

システム名 (SysName)

システム名を入力します。

設置場所 (SysLocation)

設置場所を入力します。

責任者 (SysContact)

連絡先を入力します。

IP 設定

IP アドレス情報に関する設定を行います。VLAN モードごとに設定が可能です。

IP 設定の詳細については、「IP」の章をご覧ください。

「IP」の章では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも、下記の項目以外は同じことができます。

- PING
- DHCP クライアント機能の有効/無効

＼ IP アドレスに関する設定を変更すると、本製品との通信ができなくなる可能性がありますので、ご注意ください。

IP アドレス (IP)

システムに割り当てる IP アドレスを設定します。

サブネットマスク (SubnetMask)

サブネットマスクを設定します。省略時は IP アドレスのクラス標準マスクが用いられます。

ゲートウェイアドレス (Gateway)

ゲートウェイアドレスを設定します。ルーターを介して通信を行う場合に設定します。

インターフェース (VLAN)

IP アドレスを割り当てるインターフェース (VLAN) を設定します。802.1Q タグ VLAN モードの場合は、VLAN 名または VLAN ID を入力します。デフォルトでは、VLAN default に割り当てられています。マルチプル VLAN モードの場合は、VLAN 名 (アップリンク VLAN:UV1~3、ノーマル VLAN:NV1~10) を入力します。デフォルトでは、UV1 に割り当てられています。

パスワード

ログインパスワードを設定します。

「変更」ボタンをクリックすると、パスワード変更のダイアログボックスが表示されます。

現パスワード

現在のパスワードを入力します。入力したパスワードは、「・」で表示されます。

新パスワード

新しいパスワードを入力します。入力したパスワードは、「・」で表示されます。

新パスワード(再入力)

確認のために、もう一度新しいパスワードを入力します。入力したパスワードは、「・」で表示されます。

時間

本製品では、システム時間の手動設定、および、SNTP (Simple Network Time Protocol) を利用した時刻設定が可能です。

本製品はリアルタイムクロックを内蔵していないため、システムを再起動するたびに時刻をあわせる必要があります。これは、手動で行うこともできますが、SNTP サーバーにアクセスできる環境では、SNTP の利用をおすすめします。

SNTP の詳細については、「運用・管理」/「SNTP」をご覧ください。

「運用・管理」/「SNTP」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも、次の項目以外は同じことができます。

- SNTP モジュールの設定消去
- SNTP モジュールのリセット

CentreCOM GS916M

システム設定 - 時間

Version 1.6.0 MAC Addr: 00-09-16-00-00-02

保存 終了

☐ システム設定
 ☐ システム
 ☒ 時間
 ☐ SNMP
 ☐ ログ
 ☐ アクセスフィルタ
 ☐ その他
☐ スイッチ設定
☐ セキュリティ設定
☐ 機器監視
☐ マネージメント

システム時間

年/月/日 時:分:秒
 2005 / 01 / 01 (土曜日) 01 : 58 : 53
 設定 リセット

NTP

☐ NTP有効 タイムゾーン(UTC offset) UTC offset
 JST(+9:00) +09:00:00
 NTPサーバー(NTP Peer) NTPポート番号
 0 . 0 . 0 . 0 123 [1-65535]
 設定 リセット

Allied Telesis

Copyright©2008 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

システム時間

内蔵時計の日付と時刻を設定します。

年/月/日

日付を入力します。

時:分:秒

時刻を入力します。

NTP

SNTP に関する設定を行います。

NTP 有効

SNTP モジュールを有効にする場合に、チェックを付けます。

SNTP モジュールを無効にする場合に、チェックを外します。

タイムゾーン (UTC offset)

協定世界時からのオフセットを指定します。定義済みのタイムゾーン名をリストから選択します。

UTC offset

現在設定されている、協定世界時 (UTC) からのオフセットが表示されます。

NTP サーバー (NTP Peer)

時刻同期をとる SNTP サーバーの IP アドレスを設定します。SNTP サーバーは 1 つしか設定できません。

NTP ポート番号

SNTP サーバーの UDP ポートを設定します。

SNMP

ネットワーク管理プロトコル SNMP (Simple Network Management Protocol) を利用するための設定を行います。

SNMP の詳細については、「運用・管理」/「SNMP」をご覧ください。

「運用・管理」/「SNMP」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも同じことができます。

CentreCOM GS916M

システム設定 - SNMP

Version 1.6.0 MAC Addr: 00-09-16-00-00-02

保存 終了

システム設定

- システム
- 時間
- SNMP
- ログ
- アクセスフィルター
- その他

スウィッチ設定

セキュリティ設定

機器監視

マネージメント

SNMP基本設定

☐ SNMP有効

SNMPポート番号: 161 [1-65535] トラップポート番号: 162 [1-65535]

生成トラップ

<input type="checkbox"/> ColdStart	<input type="checkbox"/> Link	<input type="checkbox"/> NewRoot
<input type="checkbox"/> WarmStart	<input type="checkbox"/> Temperature	<input type="checkbox"/> LoopDetection
<input type="checkbox"/> Authentication	<input type="checkbox"/> Voltage	<input type="checkbox"/> StormDetection
<input type="checkbox"/> Login/Logout	<input type="checkbox"/> TopologyChange	<input type="checkbox"/> EPSR
<input type="checkbox"/> Fan		

すべて選択 すべて解除

リンクアップ/リンクダウントラップ生成(Interface)

1	3	5	7	9	11	13	15
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	4	6	8	10	12	14	16
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

すべて選択 すべて解除

設定 リセット

SNMPコミュニティ

コミュニティ名	状態	Trap	アクセス権	アクセス許可

追加 変更 削除

Allied Telesis

Copyright©2008 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

SNMP 基本設定

SNMP 有効

SNMP モジュールを有効にする場合にチェックを付けます。

SNMP モジュールを無効にする場合にチェックを外します。

SNMP ポート番号

SNMP (get/set) のリスニングポートを変更します。

トラップポート番号

SNMP トラップのリスニングポートを変更します。

生成トラップ

トラップの生成を有効にするトラップにチェックを付けます。

トラップの生成を無効にするトラップのチェックを外します。

「すべて選択」ボタンをクリックすると、すべてのトラップにチェックが付きます。

「すべて解除」ボタンをクリックすると、すべてのトラップのチェックが外れます。

リンクアップ/リンクダウントラップ生成 (Interface)

リンクアップ/リンクダウントラップを生成するインターフェースにチェックを付けます。

リンクアップ/リンクダウントラップを生成しないインターフェースのチェックを外します。

「すべて選択」ボタンをクリックすると、すべてのポートにチェックが付きます。

「すべて解除」ボタンをクリックすると、すべてのポートのチェックが外れます。

SNMP コミュニティー

作成されているコミュニティの一覧が表示されます。

SNMP コミュニティーの作成

SNMP コミュニティーを作成するには、「追加」ボタンをクリックします。

「追加」ボタンをクリックすると、「SNMP コミュニティー - 追加」が表示されます。

SNMP - Microsoft Internet Explorer

SNMPコミュニティ - 追加

コミュニティ名 (Community)

☐ 本コミュニティを有効にする

管理ステーション (Manager)

1	0	0	0	0
2	0	0	0	0
3	0	0	0	0
4	0	0	0	0

アクセス権 (Access)

read-only

☐ アクセス許可 (Open)

☐ 本コミュニティにトラップ送出

トラップ送信先ホスト (TrapHost)

1	0	0	0	0
2	0	0	0	0
3	0	0	0	0
4	0	0	0	0

送出トラップ

<input checked="" type="checkbox"/> ColdStart	<input checked="" type="checkbox"/> Link	<input checked="" type="checkbox"/> NewRoot
<input checked="" type="checkbox"/> WarmStart	<input checked="" type="checkbox"/> Temperature	<input checked="" type="checkbox"/> LoopDetection
<input checked="" type="checkbox"/> Authentication	<input checked="" type="checkbox"/> Voltage	<input checked="" type="checkbox"/> StormDetection
<input checked="" type="checkbox"/> Login/Logout	<input checked="" type="checkbox"/> TopologyChange	<input checked="" type="checkbox"/> EPSR
<input checked="" type="checkbox"/> Fan		

すべて選択 すべて解除

設定 キャンセル リセット

次の項目を設定します。

「コミュニティ名 (Community)」

コミュニティ名を入力する

「本コミュニティを有効にする」

作成したコミュニティを有効にする場合にチェックを付ける。

無効にする場合はチェックを外します。

「管理ステーション (Manager)」

SNMP オペレーションを許可する管理ステーションを指定する

「アクセス権 (Access)」

コミュニティのアクセス権をリストから選択する

「アクセス許可 (Open)」

「管理ステーション (Manager)」で指定したホストだけでなく、すべての SNMP リクエストを受け入れる場合にチェックを付ける

「本コミュニティにトラップ送出」

作成した SNMP コミュニティにおけるトラップの生成を有効にする場合にチェックを付ける。無効の場合は、チェックを外す

「トラップ送信先ホスト (TrapHost)」

SNMP トラップの送信先ホストを指定する

「送出トラップ」

送出するトラップにチェックを付ける。送出しないトラップのチェックを外す

SNMP コミュニティの設定変更

作成されたコミュニティの一覧から、設定を変更したいコミュニティにチェックを付けて「変更」ボタンをクリックすると、「SNMP コミュニティ - 変更」が表示されます。ここでコミュニティの設定の変更や、管理ステーション、トラップホストの追加/削除を行います。

SNMP コミュニティの削除

作成されたコミュニティの一覧から、設定を変更したいコミュニティにチェックを付けて「削除」ボタンをクリックすると、確認のダイアログボックスが表示されます。「OK」ボタンをクリックすると、コミュニティは削除されます。「キャンセル」ボタンをクリックすると、コミュニティは削除されません。

ログ

ログ機能の設定を行います。

ログ機能の詳細については、「運用・管理」/「ログ」をご覧ください。

「運用・管理」/「ログ」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも、下記の項目以外は同じことができます。

- ログ設定の削除

CentreCOM GS916M

システム設定 - ログ

Version 1.6.0 MAC Addr: 00-09-16-00-00-02

保存 終了

システム設定

- システム
- 時間
- SNMP
- アクセスフィルター
- その他

スイッチ設定

セキュリティ設定

機器監視

マネージメント

ログ設定

☒ ログ有効

ログ出力先(Output)

☒ メモリー (TEMPORARY)

☐ syslog サーバー (SYSLOG)

出力ログレベル(Severity)

INFO(3)

> (以上)

syslog サーバーアドレス

0 . 0 . 0 . 0

syslog ポート番号

514 [1-65535]

syslog レベル(Severity)

INFO(3)

> (以上)

ファシリティ(Facility)

DEFAULT(24)

設定 リセット

Allied Telesis

Copyright©2008 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

ログ設定

ログ有効

ログ機能を有効にする場合に、チェックを付けます。

ログ機能を無効にする場合に、チェックを外します。

ログ出力先 (Output)

ログ出力先を指定します。

メモリーに出力する場合は、「メモリー (TEMPORARY)」にチェックを付けます。

syslog サーバーに出力する場合は、「syslog サーバー (SYSLOG)」にチェックを付けます。

- ログ機能を有効にし、出力先を「メモリー (TEMPORARY)」に設定している場合は、機器監視のログメニューで、ログを表示させることができます。

出力ログレベル (Severity)

出力先がメモリー (TEMPORARY) の場合のメッセージのログレベルを指定します。「レベル」と比較演算子をリストから選択します。

syslog サーバーアドレス

syslog のメッセージの転送先 IP アドレスを指定します。

syslog ポート番号

syslog サーバーへの UDP ポートを指定します。

syslog レベル (Severity)

出力先が syslog サーバー (SYSLOG) の場合のメッセージのログレベルを指定します。「レベル」と比較演算子をリストから選択します。

ファシリティ (Facility)

syslog サーバーへ送信するログファシリティ値をリストから選択します。

アクセスフィルター

本製品宛ての通信に適用するセキュリティ機能に関する設定を行います。

アクセスフィルターの詳細については、「運用・管理」/「アクセスフィルター」をご覧ください。

「運用・管理」/「アクセスフィルター」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも同じことができます。

CentreCOM GS916M

システム設定 - アクセスフィルター

Version 1.6.0 MAC Addr: 00-09-16-00-00-02

保存 終了

システム設定

- システム
- 時間
- SNMP
- ログ
- アクセスフィルター
- その他

スイッチ設定

セキュリティ設定

機器監視

マネージメント

サービス設定

SNMP : ☐ 有効 許可(PASS)

FTP : ☐ 有効 許可(PASS)

TELNET : ☐ 有効 許可(PASS)

HTTP : ☐ 有効 許可(PASS)

ICMP : ☐ 有効 許可(PASS)

GLOBAL : ☐ 有効 許可(PASS)

設定 リセット

エントリー設定

☒ SNMP ☐ FTP ☐ TELNET ☐ HTTP ☐ ICMP ☐ GLOBAL

エントリー	IPアドレス	マスク	アクション	ポート

追加 変更 削除

Allied Telesis

Copyright©2008 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

サービス設定

アクセスフィルター機能を有効にしたいサービスに、チェックを付けます。
各サービスに対応するデフォルトの処理をリストから選択します。

エントリーの追加

「エントリー設定」で、エントリーを追加するサービスを選択します。
アクセスフィルターのエントリーを作成するには、「追加」ボタンをクリックします。
「追加」ボタンをクリックすると、「アクセスフィルター - 追加」が表示されます。

Access Filter - Microsoft Internet Explorer

アクセスフィルター - 追加

サービス(Service)
SNMP

IPアドレス(IP)
0 . 0 . 0 . 0

マスクパターン(Mask)
0 . 0 . 0 . 0

アクション(Action)
許可(PASS)

ポート(Ports)

1	3	5	7	9	11	13	15
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	4	6	8	10	12	14	16
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

設定 キャンセル リセット

次の項目を入力します。

サービス (Service)

「エントリー設定」で選択したサービス名が表示されます。

IP アドレス (IP)

フィルタリング対象の IP アドレスを指定します。

アクション (Action)

パケットがフィルターの条件に一致したときのアクションをリストから選択します。

マスクパターン (Mask)

マスクパターンを指定します。

ポート (Ports)

アクセスフィルター機能を有効にするスイッチポート番号にチェックを付けます。
アクセスフィルター機能を無効にするスイッチポート番号のチェックを外します。

エントリーの設定変更

作成されたエントリーの一覧から、設定を変更したいエントリー番号にチェックを付けて「変更」ボタンをクリックすると、「アクセスフィルター-変更」が表示されます。ここでアクセスフィルターの設定の変更を行います。

エントリーの削除

作成されたエントリーの一覧から、設定を変更したいエントリー番号にチェックを付けて「削除」ボタンをクリックすると、確認のダイアログボックスが表示されます。「OK」ボタンをクリックすると、エントリーは削除されます。「キャンセル」ボタンをクリックすると、エントリーは削除されません。

その他

コンソール、Telnet 関連機能、および、FTP/TFTP サーバーの設定を行います。
コンソール、Telnet 関連機能の詳細については、「運用・管理」/「ターミナルサービス」をご覧ください。
「運用・管理」/「ターミナルサービス」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも、次の項目以外は同じことができます。

- コンソール（ログインセッション）の 1 画面当たりの表示行数の設定
- コマンド入力 of 補完機能の設定

CentreCOM GS916M

システム設定 - その他

Version 1.6.0 MAC Addr: 00-09-16-00-00-02

保存 終了

☒ システム設定
 システム
 時間
 SNMP
 ログ
 アクセスフィルター
 その他

☒ スイッチ設定
☒ セキュリティ設定
☒ 機器監視
☒ マネージメント

ユーザーインターフェース

☒ コンソール(非同期)ポート有効
☒ Telnet接続有効
☒ Webインターフェース有効

コンソールタイムアウト: 300 [0-32767](秒)
 Telnetポート番号: 23 [1-65535]
 Telnetセッション最大数: 4
 HTTPポート番号: 80 [1-65535]

設定 リセット

FTPサーバー

☒ FTPサーバー有効


ポート番号: 21 [1-65535]

設定 リセット

TFTP

ポート番号: 69 [1-65535]

設定 リセット

 Allied Telesis
 Copyright©2008 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

ユーザーインターフェース

コンソール、Telnet 関連機能について、設定を行います。

コンソール (非同期) ポート有効

コンソールポートからのログインを有効にする場合に、チェックを付けます。

コンソールポートからのログインを無効にする場合に、チェックを外します。

コンソールタイムアウト

コンソールからのログインセッションで、入力待ちの状態が続いたときセッションが切断されるまでの時間を指定します。

Telnet 接続有効

Telnet サーバー機能を有効にする場合に、チェックを付けます。

Telnet サーバー機能を無効にする場合に、チェックを外します。

Telnet ポート番号

Telnet サーバーのリスニング TCP ポートを指定します。

Telnet セッション最大数

Telnet セッションの最大接続数をリストから選択します。

Web インターフェース有効

HTTP サーバーを有効にする場合に、チェックを付けます。

HTTP サーバーを無効にする場合に、チェックを外します。

＼ HTTP サーバーを無効にすると、本製品との通信ができなくなりますので、ご注意ください。

HTTP ポート番号

HTTP プロトコルのポート番号を指定します。

FTP サーバー

FTP サーバー有効

FTP サーバー機能を有効にする場合に、チェックを付けます。

FTP サーバー機能を無効にする場合に、チェックを外します。

ポート番号

FTP サーバーのリスニング TCP ポートを指定します。

TFTP サーバー

ポート番号

TFTP サーバーの UDP ポートを指定します。

スイッチ設定

ポート

スイッチポートの各種設定を行います。

CentreCOM GS916M

スイッチ設定 - ポート

Version 1.6.0 MAC Addr: 00-09-16-00-00-02

保存
終了

システム設定

スイッチ設定

ポート

プロテクション

ミラーリング

トラッキング

バーチャルLAN

スパンニングツリー

IGMP Snooping

QoS

LDF検出

受信レポート検出

EPSR

MLD Snooping

その他

セキュリティ設定

機器監視

マネージメント

省電力モード

☐ 省電力モード有効

設定
リセット

ポート一覧

ポート	名称	通信モード	リンク	極性	ミラー	トラング	VlanID
<input type="checkbox"/> 1	-	100MFull	Up	Auto(MDIX)	None	-	default(1)
<input type="checkbox"/> 2	-	-	Down	Auto	None	-	default(1)
<input type="checkbox"/> 3	-	-	Down	Auto	None	-	default(1)
<input type="checkbox"/> 4	-	-	Down	Auto	None	-	default(1)
<input type="checkbox"/> 5	-	-	Down	Auto	None	-	default(1)
<input type="checkbox"/> 6	-	-	Down	Auto	None	-	default(1)
<input type="checkbox"/> 7	-	-	Down	Auto	None	-	-
<input type="checkbox"/> 8	-	-	Down	Auto	None	-	-
<input type="checkbox"/> 9	-	-	Down	Auto	None	-	default(1)
<input type="checkbox"/> 10	-	-	Down	Auto	None	-	default(1)
<input type="checkbox"/> 11	-	-	Down	Auto	None	-	default(1)

変更
全ポート変更
ステータス表示
再表示

Allied Telesis

Copyright©2008 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

省電力モード

省電力モードは、リンクしていないスイッチポートへの電力供給を制限し、消費電力を抑える機能です。本機能の設定は、スイッチポート別ではなく、装置全体に対して機能します。

省電力モードを有効にするときは、「省電力モード有効」にチェックを付けます。

省電力モードを無効にするときは、「省電力モード有効」のチェックを外します。

ポート一覧

スイッチポートの情報が一覧で表示されます。

リストの中から設定を変更したいポートにチェックを付けて、「変更」ボタンをクリックすると、「ポート設定」が表示されます。

「全ポート変更」ボタンをクリックすると、すべてのポートの設定を変更することができます。

リストの中からステータスを表示したいポートにチェックを付けて、「ステータス表示」ボタンをクリックすると、「ポートステータス表示」が表示されます。

「再表示」ボタンをクリックすると、ポート一覧の情報が更新されます。

ポート設定

「ポート設定」では、スイッチポートの各種設定を行います。

- 1つのポートを選択して「変更」ボタンをクリックした場合は、設定項目には現在の設定値が表示されますが、複数のポートを選択して「変更」ボタンをクリックした場合には、設定項目にはデフォルト値が表示されます。

- 下記の設定項目は、選択したポートによっては、表示されないものもあります。また、「全ポート変更」ボタンをクリックした場合は、すべての項目が表示されますが、設定の必要なポートでのみ、設定は有効になります。

ポート名称 (Description)

ポート名称を設定します。

ポート状態 (Status)

スイッチポートの有効/無効をリストから選択します。

リンク (Link)

スイッチポートのポート状態を無効にしたときの物理的なリンクの有効/無効をリストから選択します。

フロー制御 (FlowControl)

フローコントロール (Full Duplex 時の IEEE 802.3x PAUSE 受信) の有効/無効をリストから選択します。

通信モード (Speed/Duplex)

ポートの通信速度とデュプレックスモードをリストから選択します。

受信可能フレームタイプ (Acceptable)

受信可能なフレームタイプをリストから選択します。

極性自動切替 (AutoMDI)

指定したスイッチポートで MDI/MDI-X 自動切替を有効 (Enable) にするか、無効 (Disable) にするかを、リストから選択します。(コンボポート以外のポートで設定有効)

- ✧ 通信モードで、固定スピード (100 Mbps - Full Duplex, 100 Mbps - Half Duplex, 10 Mbps - Full Duplex, 10 Mbps - Half Duplex) を設定した場合、MDI/MDI-X 自動切替は無効になります (有効には変更できません)。また、固定スピードからオートネゴシエーション (Auto-Negotiate, 100 Mbps - Full Auto, 100 Mbps - Half Auto, 10 Mbps - Full Auto, 10 Mbps - Half Auto, 10-100 Mbps Auto) に変更した場合は、MDI/MDI-X 自動切替は無効のまま変わりません。1000MFULL を設定した場合は、MDI/MDI-X 自動切替は有効になります (無効にも変更できます)。

極性 (Polarity)

MDI/MDI-X 自動切替を無効にしたときの MDI/MDI-X の指定を、リストから選択します。(コンボポート以外のポートで設定有効)

コンボポート (Combo)

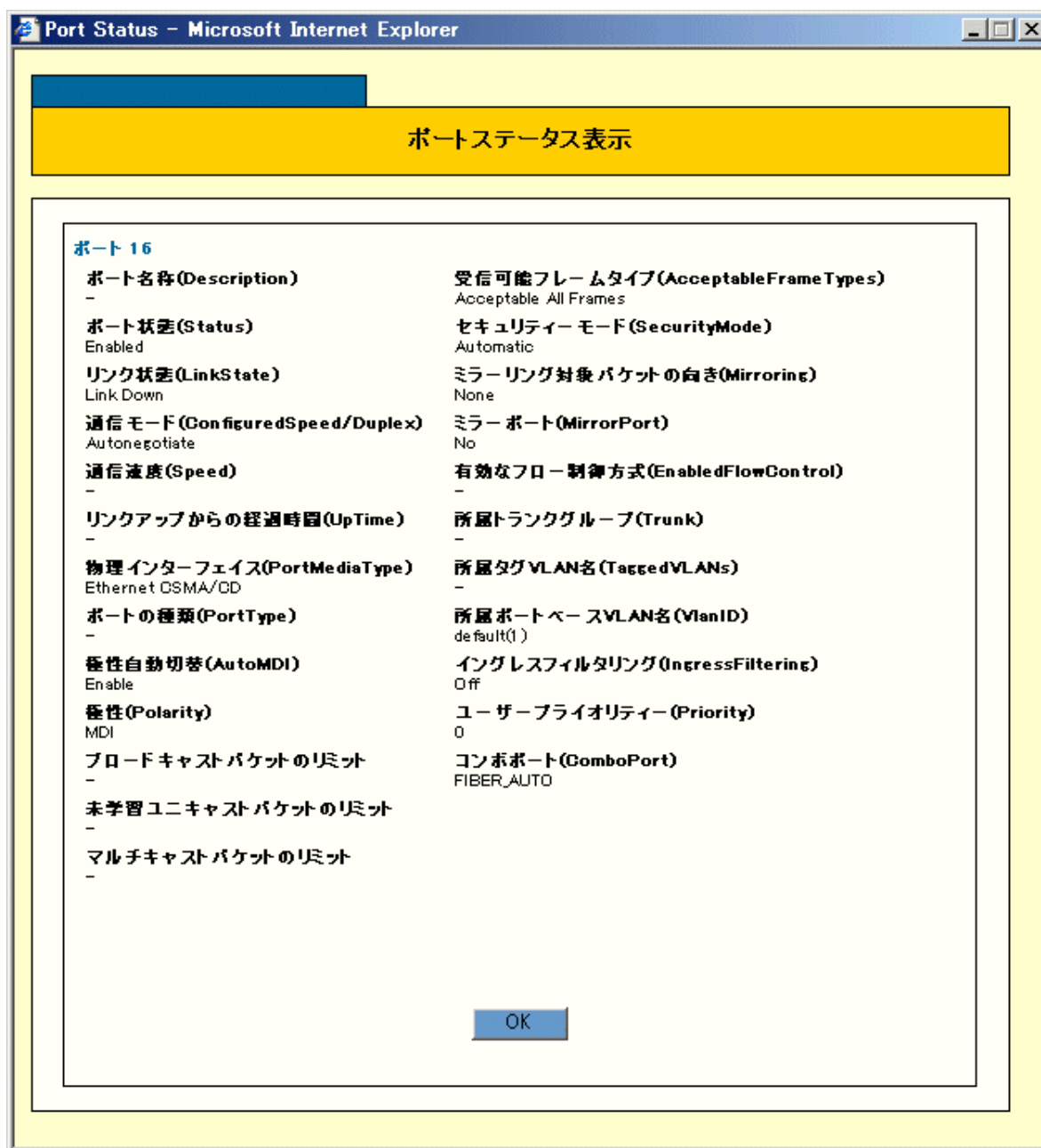
コンボポートの冗長設定をリストから選択します。(コンボポートのみ設定有効)

- ✧ コンボポートがトランクグループに所属している場合、コンボポートの冗長設定 (Fiber/Copper の変更) の変更後は、設定を保存し、システムを再起動してください。設定はシステムの再起動後に有効になります。

ポートステータス表示

スイッチポートの詳細な情報が表示されます。

表示される内容については、SHOW SWITCH PORT コマンド (「スイッチング」の 103 ページ) の説明を参照してください。



プロテクション

パケットストームプロテクション（ブロードキャスト/マルチキャスト/未学習のユニキャストフレームの受信レートに上限を設定し、パケットストームを防止するための機能）に関する設定を行います。

パケットストームプロテクションの詳細については、「スイッチング」の章をご覧ください。

「スイッチング」の章では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも同じことができます。

CentreCOM GS916M

スイッチ設定 - パケットストームプロテクション

Version 1.6.0 MAC Addr: 00-09-16-00-00-02

保存 終了

システム設定
 スイッチ設定
 ポート
 パケットストームプロテクション
 ミラーリング
 トランッキング
 バーチャルLAN
 スパンニングツリー
 IGMP Snooping
 QoS
 LDF検出
 受信レート検出
 EPSR
 MLD Snooping
 その他
 セキュリティ設定
 機器監視
 マネージメント

パケットストームプロテクション設定
 受信上限カウンタ(Limitation) (※適切な値に自動補正されます。)

[0~15000](pps)

設定
リセット

ポート設定

ポート	Broadcastパケット	Unknown Unicastパケット	Multicastパケット
<input type="checkbox"/> 1	off	off	off
<input type="checkbox"/> 2	off	off	off
<input type="checkbox"/> 3	off	off	off
<input type="checkbox"/> 4	off	off	off
<input type="checkbox"/> 5	off	off	off
<input type="checkbox"/> 6	off	off	off
<input type="checkbox"/> 7	off	off	off
<input type="checkbox"/> 8	off	off	off
<input type="checkbox"/> 9	off	off	off

変更
全ポート変更

Allied Telesis
 Copyright©2008 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

パケットストームプロテクション設定

「受信上限カウンタ (Limitation)」に、パケットストームプロテクションで使用するしきい値を設定します。

ポート設定

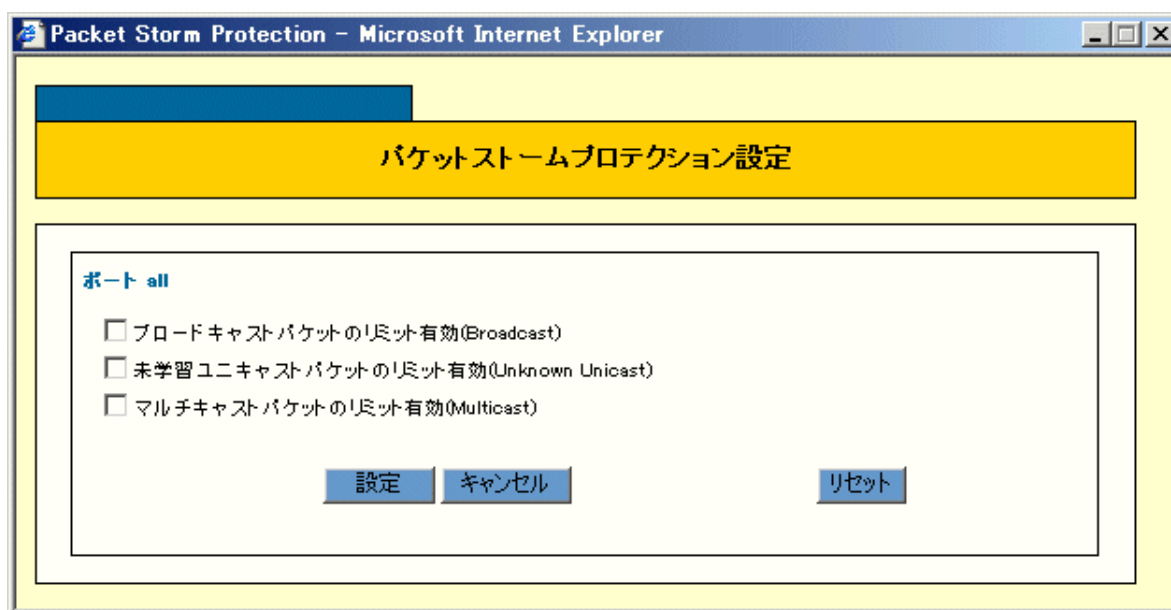
ポートのパケットストームプロテクションの有効/無効の設定状態が一覧で表示されます。

一覧の中から、設定を変更したいポートにチェックを付け、「変更」ボタンをクリックすると、「パケットストームプロテクション設定」が表示されます。

「全ポート変更」ボタンをクリックすると、すべてのポートの設定を変更することができます。

パケットストームプロテクション設定

ブロードキャスト、未学習ユニキャスト、マルチキャストの各パケットに対する、パケットストームプロテクションの有効/無効を設定します。



- ＼ 1つのポートを選択して「変更」ボタンをクリックした場合は、設定項目には現在の有効/無効の状態が表示されますが、複数のポートを選択して「変更」ボタンをクリックした場合には、設定項目は無効として表示されます。

有効にするフレームにチェックを付けます。

無効にするフレームのチェックを外します。

未学習ユニキャストまたはマルチキャストを有効にする場合は、必ずブロードキャストも一緒に有効にしてください。

有効にできる組み合わせは、次のとおりです。

- ブロードキャストのみ
- ブロードキャストと未学習ユニキャスト
- ブロードキャストとマルチキャスト
- ブロードキャスト、未学習ユニキャストとマルチキャスト

ミラーリング

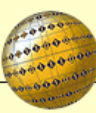
ポートミラーリング（特定のポートを通過するトラフィックをあらかじめ指定したミラーポートにコピーする機能）に関する設定を行います。

ポートミラーリングの詳細については、「スイッチング」の章をご覧ください。

「スイッチング」の章では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも同じことができます。

CentreCOM GS916M

スイッチ設定 - ミラーリング



Version 1.6.0 MAC Addr: 00-09-16-00-00-02

システム設定

スイッチ設定

ポート

プロテクション

ミラーリング

トランキング

バーチャルLAN

スパニングツリー

IGMP Snooping

QoS

LDF検出

受信レート検出

EPSR

MLD Snooping

その他

セキュリティ設定

機器監視

マネージメント

ミラーリング設定 (※ミラーリングを無効とした場合、設定は削除されます。)

☐ ミラーリング有効


ミラーポート(Mirror)

1	3	5	7	9	11	13	15
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2	4	6	8	10	12	14	16
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

ソースポート(Source)

1	3	5	7	9	11	13	15
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2	4	6	8	10	12	14	16
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

トラフィックの向き(Direction)


Copyright©2008 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

ミラーリング有効

ポートミラーリング機能を有効にする場合に、チェックを付けます。

ポートミラーリング機能を無効にする場合に、チェックを外します。

ミラーポート (Mirror)

ミラーポートに設定したいポートにチェックを付けます。ミラーポートは、1ポートのみ設定が可能です。

ミラーポートを解除したいポートのチェックを外します。

ソースポート (Source)

ソースポートに設定したいポートにチェックを付けます。ソースポートは、1ポートのみ設定が可能です。

ソースポートを解除したいポートのチェックを外します。

トラフィックの向き (Direction)

ミラーリングするトラフィックの向きをリストから選択します。

※ ミラーリング機能を無効にすると、「ミラーリング有効」以外の設定も削除されます。

トランキング

ポートトランキング（複数の物理ポートを束ねてスイッチ間の帯域幅を拡大する機能）に関する設定を行います。

※ 設定変更後は、設定を保存し、システムを再起動してください。設定はシステムの再起動後に有効になります。

Web GUI

CentreCOM GS900M シリーズ コマンドリファレンス 1.6.0
J613-M0220-03 Rev.F

35

ポートトラッキングの詳細については、「スイッチング」の章をご覧ください。

「スイッチング」の章では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも同じことができます。



トランクグループの作成

「追加」ボタンをクリックすると、「トランク設定 - 追加」が表示されます。

Trunking - Microsoft Internet Explorer

トランク設定 - 追加

トランクグループ名(TrunkGroupName) 通信速度(Speed)

1000 Mbps

ポート(Ports)

1	3	5	7	9	11	13	15
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	4	6	8	10	12	14	16
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

設定
キャンセル
リセット

次の項目を設定します。

トランクグループ名 (TrunkGroupName)

トランクグループ名を入力します。

通信速度 (Speed)

トランクポートの通信速度をリストから選択します。

ポート (Ports)

トランクグループに追加するポートにチェックを付けます。1 グループに最大 8 ポートまで追加可能です。また、非連続な設定も可能です。

トランクグループから削除するポートのチェックを外します。

トランクグループの設定変更

作成されたトランクグループの一覧から、設定を変更したいトランクグループ名を選択して「変更」ボタンをクリックすると、「トランク設定 - 変更」が表示されます。ここでトランクグループの設定変更を行います。

トランクグループの削除

作成されたトランクグループの一覧から、設定を変更したいトランクグループ名にチェックを付けて「削除」ボタンをクリックすると、確認のダイアログボックスが表示されます。「OK」ボタンをクリックすると、トランクグループは削除されます。「キャンセル」ボタンをクリックすると、トランクグループは削除されません。

バーチャル LAN

バーチャル LAN (VLAN) (スイッチの設定によって論理的にブロードキャストドメインを分割する機能) に関する設定を行います。

バーチャル LAN の詳細については、「バーチャル LAN」の章をご覧ください。

「バーチャル LAN」の章では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも同じことができます。

バーチャル LAN 設定

IP インターフェース (VLAN)

マネージメントポートの所属 VLAN が表示されます。

VLAN モード

使用する VLAN モードにチェックを付けます。

- ❖ VLAN モードを変更した場合は、必ず、設定を保存し、本製品を再起動してください。設定はシステムの再起動後に有効になります。

- ＼ VLAN モードを変更すると、IP アドレスの設定が消去されるので、VLAN モードを変更した後に IP アドレスを再設定する必要があります。

イングレスフィルタリング有効

イングレスフィルタリングを有効にする場合に、チェックを付けます。

イングレスフィルタリングを無効にする場合に、チェックを外します。

VLAN の作成 (802.1Q タグ VLAN モードの場合)

「追加」ボタンをクリックすると、「802.1Q タグ VLAN 設定 - 追加」が表示されます。

次の項目を設定します。

VLAN 名 (VlanName)

VLAN 名を入力します。

VID

VLAN ID を入力します。

ポート (Ports)

作成した VLAN に、タグ付きポートとして追加したい場合は、対象となるポート番号の横のリストで、「タ

グ付き」を選択します。

作成した VLAN に、タグなしポートとして追加したい場合は、対象となるポート番号の横のリストで、「タグなし」を選択します。

作成した VLAN から削除する場合は、対象となるポート番号の横のリストで、「None」を選択します。

VLAN の設定変更（802.1Q タグ VLAN モードの場合）

作成された VLAN の一覧から、設定を変更したい VLAN 名にチェックを付けて「変更」ボタンをクリックすると、「802.1Q タグ VLAN 設定 - 変更」が表示されます。ここで VLAN の設定変更を行います。

VLAN の削除（802.1Q タグ VLAN モードの場合）

作成された VLAN の一覧から、削除したい VLAN 名にチェックを付けて「削除」ボタンをクリックすると、確認のダイアログボックスが表示されます。「OK」ボタンをクリックすると、VLAN は削除されます。「キャンセル」ボタンをクリックすると、VLAN は削除されません。

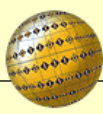
マルチプル VLAN 設定

「VLAN モード」でマルチプル VLAN(Selected Port 版)を選択すると、マルチプル VLAN の設定を変更することができます。

CentreCOM GS916M

スイッチ設定 - バーチャルLAN

Version 1.6.0 MAC Addr: 00-09-16-00-00-02



保存
終了

システム設定

スイッチ設定

ポート

プロテクション

ミラーリング

トランッキング

バーチャルLAN

スパニングツリー

IGMP Snooping

QoS

LDF検出

受信レート検出

EPSR

MLD Snooping

その他

セキュリティ設定

機器監視

マネージメント

バーチャルLAN設定 (※本設定を有効にするには、保存後、再起動する必要があります)

IPインターフェース(VLAN):-

VLANモード (起動時: 802.1QタグVLAN)


☐ 802.1QタグVLAN
☒ マルチプルVLAN(Selectable Port版)

設定
リセット

マルチプルVLAN設定

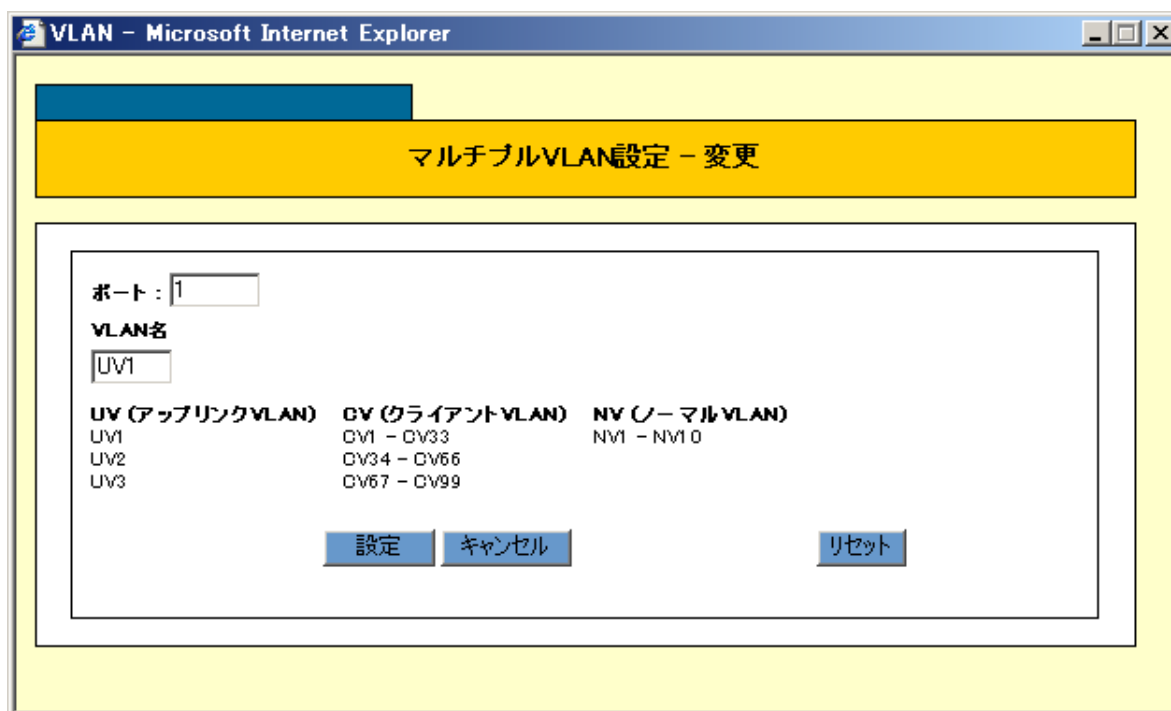
ポート	VLAN名
<input type="radio"/> 1	UV1
<input type="radio"/> 2	OV2
<input type="radio"/> 3	OV3
<input type="radio"/> 4	OV4
<input type="radio"/> 5	OV5
<input type="radio"/> 6	OV6
<input type="radio"/> 7	OV7

変更



Copyright©2008 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

設定を変更したいポート番号にチェックを付けて「変更」ボタンをクリックすると、「マルチプルVLAN 設定 - 変更」が表示されます。



VLAN - Microsoft Internet Explorer

マルチプルVLAN設定 - 変更

ポート : 1

VLAN名
UV1

UV (アップリンクVLAN)	GV (クライアントVLAN)	NV (ノーマルVLAN)
UV1	GV1 - GV33	NV1 - NV10
UV2	GV34 - GV66	
UV3	GV67 - GV99	

設定 キャンセル リセット

「VLAN 名」に、対象ポートを割り当てる VLAN 名を入力します。入力できる VLAN 名は、次の中から選びます。

- アップリンク VLAN : UV1 ~ 3
- ノーマル VLAN : NV1 ~ 10
- クライアント VLAN: CV1 ~ 99

スパニングツリー

スパニングツリープロトコル (STP) の設定を行います。

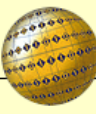
スパニングツリーの詳細については、「スパニングツリープロトコル」の章をご覧ください。

「スパニングツリープロトコル」の章では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも、次の項目以外は同じことができます。

- スパニングツリープロトコルの設定消去

CentreCOM GS916M

スイッチ設定 – スパニングツリー



Version 1.6.0 MAC Addr: 00-09-16-00-00-02

システム設定

スイッチ設定

ポート

プロテクション

ミラーリング

トランッキング

バーチャルLAN

スパニングツリー

IGMP Snooping

QoS

LDF検出

受信レート検出

EPSR

MLD Snooping

その他

セキュリティ設定

機器監視

マネージメント

ステータス

RSTP Type : Normal
 Bridge Identifier: 32768 : 00-09-16-00-00-02
 Root Bridge : 0 : 00-00-00-00-00-00
 Root Port : (n/a)
 Root Path Cost: 0
 Max Age : 0
 Hello Time : 0
 Forward Delay : 0
 Hold Time : 1

基本設定

スパニングツリー有効

1 3 5 7 9 11 13 15
☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐

2 4 6 8 10 12 14 16
☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐


RSTPの動作モード (RstpType)
☒ RSTP BPDUを使う(Nomal)
☐ 標準BPDUを使う(STP Compatible)

ハロータイム (HelloTime)
 [1-10](秒)

ブリッジプライオリティ (Priority)
 [0-61440] (※適切な値に自動補正されます。)

最大エージタイム (MaxAge)
 [6-40](秒)

フォワードディレイタイム (ForwardDelay)
 [4-30](秒)



Copyright©2008 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

ステータス

ラピッドスパニングツリープロトコル (Rapid STP) の設定情報、動作状況が表示されます。
表示される項目は、SHOW STP コマンド (「スパニングツリープロトコル」の 16 ページ) の説明を参照してください。

基本設定

Rapid STP ドメインのブリッジ設定、スパニングツリーパラメーターを設定します。

スパニングツリー有効

Rapid STP を有効にするポートにチェックを付けます。

Rapid STP を無効にするポートにチェックを付けます。

RSTP の動作モード (RstpType)

Web GUI

CentreCOM GS900M シリーズ コマンドリファレンス 1.6.0
J613-M0220-03 Rev.F

43

Rapid STP の動作モードを選択します。

RSTP BPDU を使う (Nomal) : RSTP BPDU を使う場合に選択します。

標準 BPDU を使う (STP Compatible) : RSTP の設定を使用するが、STP BPDU を使う場合に選択します。

ハロータイム (HelloTime)

ハロータイム (ルートブリッジが BPDU (Bridge Protocol Data Unit) を送信する間隔) を設定します。

最大エージタイム (MaxAge)

最大エージタイム (ルートブリッジから BPDU が届かなくなったことを認識するまでの時間) を設定します。

ブリッジプライオリティ (Priority)

ブリッジプライオリティを設定します。

フォワードディレイタイム (ForwardDelay)

フォワードディレイタイム (ネットワーク構成の変更後に、ルートブリッジ内のポートがディスカードイングからラーニング、ラーニングからフォワーディング状態に遷移するまでの最大時間) を設定します。

ポート設定

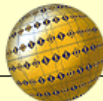
指定した Rapid STP ドメインのポートのスパニングツリーパラメーターを変更します。

「ポート設定」ボタンをクリックすると、ポート状態の一覧が表示されます。

CentreCOM GS916M

スイッチ設定 - スパニングツリー

Version 1.6.0 MAC Addr: 00-09-16-00-00-02



保存

終了

システム設定

スイッチ設定

- ポート
- プロテクション
- ミラーリング
- トランキング
- バーチャルLAN
- スパニングツリー
- IGMP Snooping
- QoS
- LDF検出
- 受信レポート検出
- EPSR
- MLD Snooping
- その他

セキュリティ設定

機器監視

マネージメント

ポート設定


ポート	有効	状態	Role	Edge	P2P	バージョン	コスト
<input type="checkbox"/> 1	Disabled	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/> 2	Disabled	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/> 3	Disabled	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/> 4	Disabled	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/> 5	Disabled	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/> 6	Disabled	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/> 7	Disabled	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/> 8	Disabled	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/> 9	Disabled	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/> 10	Disabled	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/> 11	Disabled	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/> 12	Disabled	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/> 13	Disabled	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/> 14	Disabled	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/> 15	Disabled	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/> 16	Disabled	-	-	-	-	-	-

戻る

変更

全ポート変更

再表示

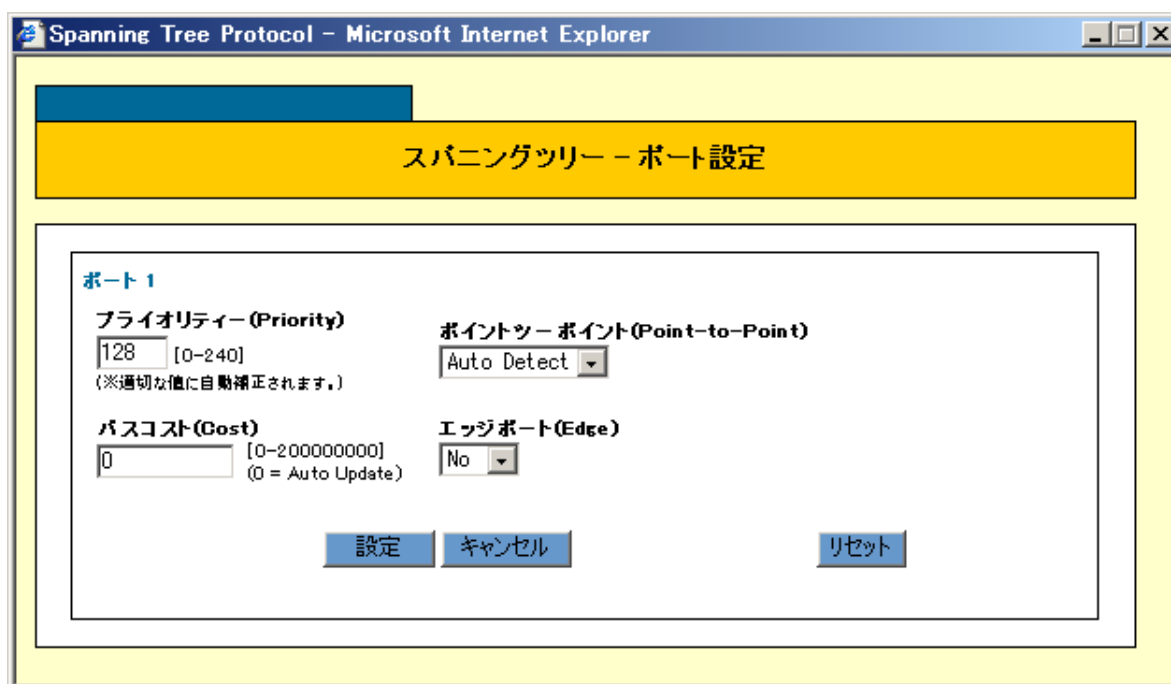


Copyright©2008 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

設定を変更するポート番号にチェックを付け、「変更」ボタンをクリックすると、「スパニングツリー - ポート設定」が表示されます。

「全ポート変更」ボタンをクリックすると、すべてのポートの設定を変更することができます。

「再表示」ボタンをクリックすると、ポート状態の表示が更新されます。



- 1つのポートを選択して「変更」ボタンをクリックした場合は、設定項目には現在の設定が表示されますが、複数のポートを選択して「変更」ボタンをクリックした場合には、設定項目はデフォルト値が表示されます。

プライオリティ (Priority)

ポートプライオリティを設定します。

パスコスト (Cost)

パスコストを設定します。

ポイントツーポイント (Point-to-Point)

該当ポートが他のブリッジとポイントツーポイントで接続されているかどうかをリストから選択します。

エッジポート (Edge)

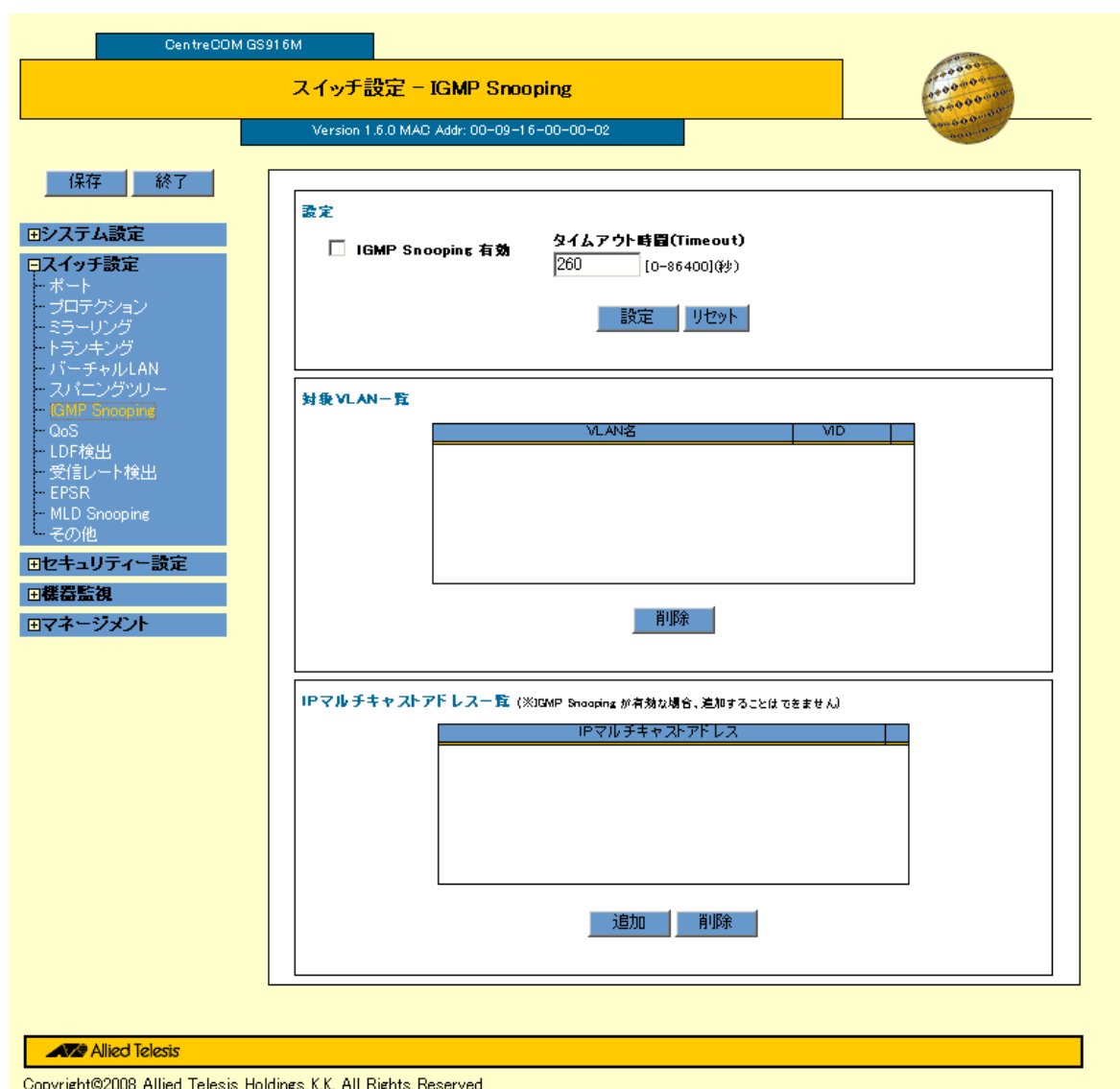
該当ポートがエッジポートかどうかをリストから選択します。

IGMP Snooping

IGMP Snooping (VLAN 環境において不要なマルチキャストトラフィックをフィルタリングする機能) に関する設定を行います。

IGMP Snooping の詳細については、「IGMP Snooping」の章をご覧ください。

「IGMP Snooping」の章では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも同じことができます。



設定

IGMP Snooping 有効

IGMP Snooping を有効にする場合に、チェックを付けます。

IGMP Snooping を無効にする場合に、チェックを外します。

タイムアウト時間 (Timeout)

IGMP Snooping 有効時、グループが作成後 Membership Report を受信しなくなってから、グループを削除するまでの時間を設定します。

対象 VLAN 一覧

VLAN 名

IGMP Snooping の対象となる VLAN 名を表示します。

VID

IGMP Snooping の対象となる VLAN の VID を表示します。

削除

選択した VLAN の設定（IP マルチキャストアドレスに関するエントリー）を削除します。

削除する前に以下の確認画面が表示されます。



IP マルチキャストアドレス一覧

対象 VLAN 一覧

選択した VLAN に現在登録されている IP マルチキャストアドレスを表示します。

IP マルチキャストアドレス-追加

IP マルチキャストアドレスを追加します。

VLAN 名

IGMP Snooping の対象となる VLAN 名または VLAN ID を指定します。

IP マルチキャストアドレス

IGMP Snooping の対象となる IP マルチキャストアドレスを指定します。

QoS

パケットごとに送信時の優先度を変化させる QoS (Quality of Service) 機能に関する設定を行います。

QoS の詳細については、「QoS」の章をご覧ください。

「QoS」の章では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも、次の項目以外は同じことができます。

- QoS の設定/消去

CentreCOM GS916M

スイッチ設定 - QoS

Version 1.6.0 MAC Addr: 00-09-16-00-00-02

保存 終了

- システム設定
- スイッチ設定**
 - ポート
 - プロテクション
 - ミラーリング
 - トラッキング
 - バーチャルLAN
 - スパニングツリー
 - IGMP Snooping
 - QoS**
 - LDF検出
 - 受信レート検出
 - EPSR
 - MLD Snooping
 - その他
- セキュリティ設定
- 機器監視
- マネージメント

QoS基本設定

スケジューリング(Scheduling)

☒ Weighted Round-Robin(WRR)

☐ Strict Priority(STRICT)

送信キューの重み付け(HWQueue)

0: 1 1: 4 2: 10 3: 15

ユーザープライオリティへの送信キュー割り当て(HWPriority)

0: 1 1: 0 2: 0 3: 1 4: 2 5: 2 6: 3 7: 3

設定 リセット DSCP設定

ポートプライオリティ

ポート	ユーザープライオリティ
<input type="checkbox"/> 1	0
<input type="checkbox"/> 2	0
<input type="checkbox"/> 3	0
<input type="checkbox"/> 4	0
<input type="checkbox"/> 5	0
<input type="checkbox"/> 6	0
<input type="checkbox"/> 7	0

変更 全ポート変更

Allied Telesis

Copyright©2008 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

QoS 基本設定

スケジューリング (Scheduling)

使用したい QoS スケジューリング方式にチェックを付けます。

送信キューの重み付け (HWQueue)

送信キューに重み付けを行います。

ユーザープライオリティへの送信キュー割り当て (HWPriority)

QoS (Quality of Service) 機能の設定 (プライオリティタグフレームのユーザープライオリティ値と、本製品の送信キューのマッピング) を変更します。

DSCP 設定

「DSCP 設定」ボタンをクリックすると、「QoS - DSCP 設定」が表示されます。

CentreCOM GS916M

スイッチ設定 - QoS

Version 1.6.0 MAC Addr: 00-09-16-00-00-02

保存 終了

システム設定

スイッチ設定

ポート

プロテクション

ミラーリング

トラッキング

バーチャルLAN

スパンニング

IGMP Snooping

QoS

LDF検出

受信レート検出

EPSR

MLD Snooping

その他

セキュリティ設定

機器監視

マネージメント

QoS - DSCP 設定

DSCP	Queue	DSCP	Queue	DSCP	Queue	DSCP	Queue
<input type="checkbox"/> 0	0	<input type="checkbox"/> 1	0	<input type="checkbox"/> 2	0	<input type="checkbox"/> 3	0
<input type="checkbox"/> 4	0	<input type="checkbox"/> 5	0	<input type="checkbox"/> 6	0	<input type="checkbox"/> 7	0
<input type="checkbox"/> 8	0	<input type="checkbox"/> 9	0	<input type="checkbox"/> 10	0	<input type="checkbox"/> 11	0
<input type="checkbox"/> 12	0	<input type="checkbox"/> 13	0	<input type="checkbox"/> 14	0	<input type="checkbox"/> 15	0
<input type="checkbox"/> 16	0	<input type="checkbox"/> 17	0	<input type="checkbox"/> 18	0	<input type="checkbox"/> 19	0
<input type="checkbox"/> 20	0	<input type="checkbox"/> 21	0	<input type="checkbox"/> 22	0	<input type="checkbox"/> 23	0
<input type="checkbox"/> 24	0	<input type="checkbox"/> 25	0	<input type="checkbox"/> 26	0	<input type="checkbox"/> 27	0
<input type="checkbox"/> 28	0	<input type="checkbox"/> 29	0	<input type="checkbox"/> 30	0	<input type="checkbox"/> 31	0
<input type="checkbox"/> 32	0	<input type="checkbox"/> 33	0	<input type="checkbox"/> 34	0	<input type="checkbox"/> 35	0
<input type="checkbox"/> 36	0	<input type="checkbox"/> 37	0	<input type="checkbox"/> 38	0	<input type="checkbox"/> 39	0
<input type="checkbox"/> 40	0	<input type="checkbox"/> 41	0	<input type="checkbox"/> 42	0	<input type="checkbox"/> 43	0
<input type="checkbox"/> 44	0	<input type="checkbox"/> 45	0	<input type="checkbox"/> 46	0	<input type="checkbox"/> 47	0
<input type="checkbox"/> 48	0	<input type="checkbox"/> 49	0	<input type="checkbox"/> 50	0	<input type="checkbox"/> 51	0
<input type="checkbox"/> 52	0	<input type="checkbox"/> 53	0	<input type="checkbox"/> 54	0	<input type="checkbox"/> 55	0
<input type="checkbox"/> 56	0	<input type="checkbox"/> 57	0	<input type="checkbox"/> 58	0	<input type="checkbox"/> 59	0
<input type="checkbox"/> 60	0	<input type="checkbox"/> 61	0	<input type="checkbox"/> 62	0	<input type="checkbox"/> 63	0

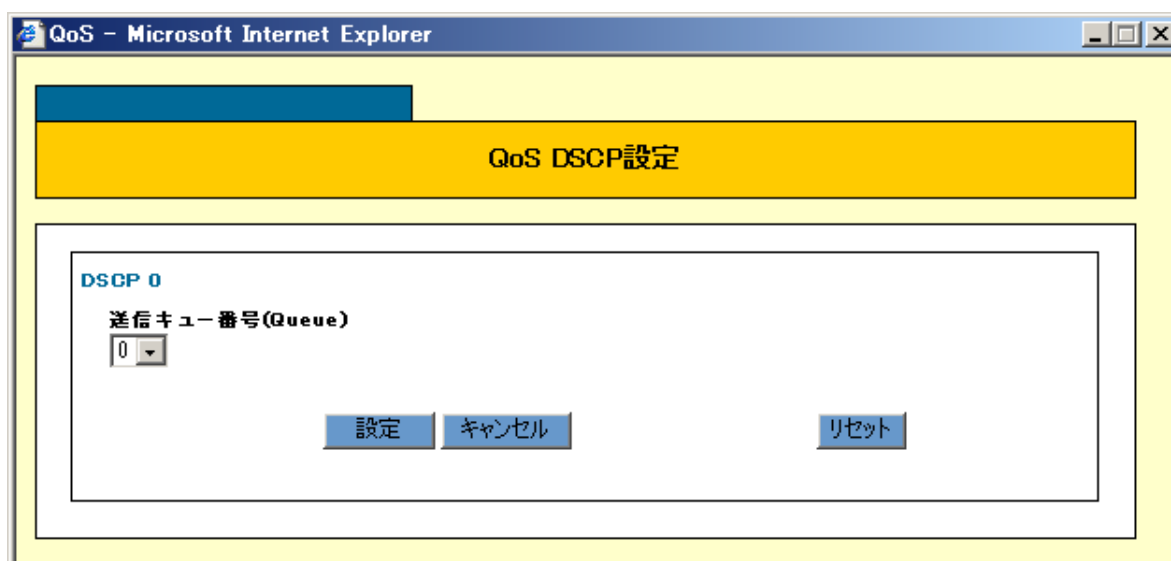
戻る 変更 全DSCP変更

Allied Telesis

Copyright©2008 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

設定を変更する DSCP 値にチェックを付け、「変更」ボタンをクリックすると、「QoS DSCP 設定」が表示されます。

「全 DSCP 変更」ボタンをクリックすると、すべての DSCP の設定を変更することができます。



- 1つのDSCP値を選択して「変更」ボタンをクリックした場合は、設定項目には現在の設定が表示されますが、複数のDSCP値を選択して「変更」ボタンをクリックした場合には、設定項目はデフォルト値が表示されます。

DSCP テーブルの設定の変更を行います。

送信キュー番号 (Queue)

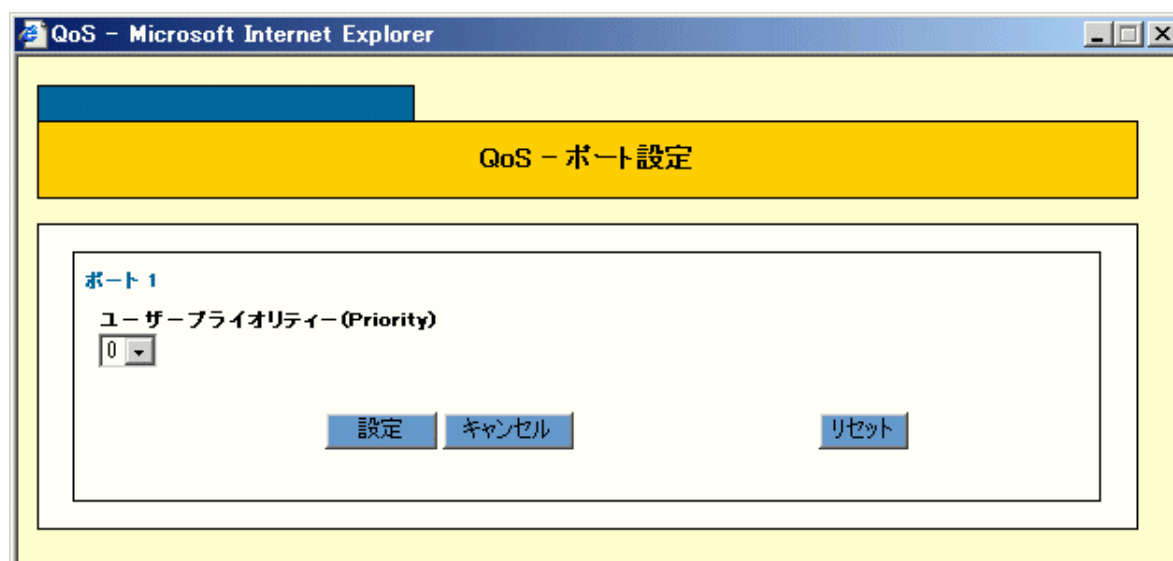
DSCP 値に対応する、送信キュー番号をリストから選択します。

ポートプライオリティー

スイッチポートのユーザープライオリティー値を指定します。

ポートプライオリティーのポート一覧で、変更するポート番号にチェックを付け、「変更」ボタンをクリックすると、「QoS - ポート設定」が表示されます。

「全ポート変更」ボタンをクリックすると、すべてのポートの設定を変更することができます。



- 1つのポート番号を選択して「変更」ボタンをクリックした場合は、設定項目には現在の設定が表示されますが、複数のポート番号を選択して「変更」ボタンをクリックした場合には、設定項目はデフォルト値が表示されます。

ユーザープライオリティ (Priority)

スイッチポートのユーザープライオリティ値を指定します。

LDF 検出

LDF (Loop Detection Frame) によりループ発生の検出と動作の保全を行う LDF 検出機能に関する設定を行います。

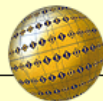
LDF 検出の詳細については、「スイッチング」の章をご覧ください。

「スイッチング」の章では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも同じことができます。

CentreCOM GS916M

スイッチ設定 - LDF検出

Version 1.6.0 MAC Addr: 00-09-16-00-00-02



保存

終了

システム設定

スイッチ設定

ポート
 プロテクション
 ミラーリング
 トランキンク
 バーチャルLAN
 スパニングツリー
 IGMP Snooping
 QoS
LDF検出
 受信レポート検出
 EPSR
 MLD Snooping
 その他

セキュリティ設定

機器監視

マネージメント

LDF検出有効

1	3	5	7	9	11	13	15
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	4	6	8	10	12	14	16
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

すべて選択

すべて解除

設定

リセット


ポート一覧

ポート	状態	タイマー	ポート有効	リンク	B/G通信
<input type="checkbox"/> 1	--	--	Enabled	Up	Forward
<input type="checkbox"/> 2	--	--	Enabled	Down	Forward
<input type="checkbox"/> 3	--	--	Enabled	Down	Forward
<input type="checkbox"/> 4	--	--	Enabled	Down	Forward
<input type="checkbox"/> 5	--	--	Enabled	Down	Forward
<input type="checkbox"/> 6	--	--	Enabled	Down	Forward
<input type="checkbox"/> 7	--	--	Enabled	Down	Forward
<input type="checkbox"/> 8	--	--	Enabled	Down	Forward
<input type="checkbox"/> 9	--	--	Enabled	Down	Forward
<input type="checkbox"/> 10	--	--	Enabled	Down	Forward
<input type="checkbox"/> 11	--	--	Enabled	Down	Forward

変更

全ポート変更

再表示



Copyright©2008 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

LDF 検出有効

LDF 検出を有効にする場合に、チェックを付けます。

LDF 検出を無効にする場合に、チェックを外します。

ポート設定

スイッチポートの LDF 検出に関する値を設定します。

LDF 検出のポート一覧で、変更するポート番号にチェックをつけ、「変更」ボタンをクリックすると、「LDF 検出 - ポート設定」が表示されます。

「全ポート変更」ボタンをクリックすると、すべてのポートの設定を変更することができます。

- 1つのポート番号を選択して「変更」ボタンをクリックした場合は、設定項目には現在の設定が表示されますが、複数のポート番号を選択して「変更」ボタンをクリックした場合には、設定項目はデフォルト値が表示されます。

LDF 検出時のアクション (Action)

LDF を検出した場合のアクションをリストから選択します。

LDF 送信間隔 (Interval)

LDF の送信間隔を設定します。

セキュアフレーム (Secure)

セキュアな LDF を受信するかどうかをリストから選択します。

ブロックタイムアウト (BlockTimeout)

アクション実行から実行前の状態への自動復旧の有効 (Enable) / 無効 (Disable) をリストから選択します。有効に設定した場合、アクション実行から復旧までの時間を入力します。

受信レート検出

受信レートの検出によりループ発生時の動作の保全を行う受信レート検出機能に関する設定を行います。

受信レート検出の詳細については、「スイッチング」の章をご覧ください。

「スイッチング」の章では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも同じことができます。

CentreCOM GS916M

スイッチ設定 - 受信レート検出

Version 1.6.0 MAC Addr: 00-09-16-00-00-02

保存 終了

システム設定

スイッチ設定

- ポート
- プロテクション
- ミラーリング
- トラッキング
- バーチャルLAN
- スライディングリレー
- IGMP Snooping
- QoS
- LDF検出
- 受信レート検出**
- EPSR
- MLD Snooping
- その他

セキュリティ設定

機器監視

マネージメント

受信レート検出有効

1 3 5 7 9 11 13 15
☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
 2 4 6 8 10 12 14 16
☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐

すべて選択 すべて解除

設定 リセット

ポート一覧

ポート	高レート	タイマー	低レート	タイマー	ポート有効	リンク	B/D 通信
<input type="checkbox"/> 1	--	--	--	--	Enabled	Up	Forward
<input type="checkbox"/> 2	--	--	--	--	Enabled	Down	Forward
<input type="checkbox"/> 3	--	--	--	--	Enabled	Down	Forward
<input type="checkbox"/> 4	--	--	--	--	Enabled	Down	Forward
<input type="checkbox"/> 5	--	--	--	--	Enabled	Down	Forward
<input type="checkbox"/> 6	--	--	--	--	Enabled	Down	Forward
<input type="checkbox"/> 7	--	--	--	--	Enabled	Down	Forward
<input type="checkbox"/> 8	--	--	--	--	Enabled	Down	Forward
<input type="checkbox"/> 9	--	--	--	--	Enabled	Down	Forward
<input type="checkbox"/> 10	--	--	--	--	Enabled	Down	Forward
<input type="checkbox"/> 11	--	--	--	--	Enabled	Down	Forward

変更 全ポート変更 再表示

Allied Telesis

Copyright©2008 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

受信レート検出有効

受信レート検出を有効にする場合に、チェックを付けます。

受信レート検出を無効にする場合に、チェックを外します。

ポート設定

スイッチポートの受信レート検出に関する値を設定します。

受信レート検出のポート一覧で、変更するポート番号にチェックをつけ、「変更」ボタンをクリックすると、「受信レート検出 - ポート設定」が表示されます。

「全ポート変更」ボタンをクリックすると、すべてのポートの設定を変更することができます。

Storm Detection - Microsoft Internet Explorer

受信レート検出 - ポート設定

ポート all

高レート検出時のアクション(HighRate Action)
PortDisable

高レートしきい値(HighRate Threshold)
819200 [2-1 024000](Kbps)

低レート検出時のアクション(LowRate Action)
None

低レートしきい値(LowRate Threshold)
512000 [1-1 023999](Kbps)

ブロックタイムアウト(BlockTimeout)
Enable 300 [1-86400](秒)

設定 キャンセル リセット

- 1つのポート番号を選択して「変更」ボタンをクリックした場合は、設定項目には現在の設定が表示されますが、複数のポート番号を選択して「変更」ボタンをクリックした場合には、設定項目はデフォルト値が表示されます。

高レート検出時のアクション (HighRateAction)

受信レートが高レートのしきい値を超えた場合のアクションをリストから選択します。

高レートしきい値 (HighRateThreshold)

受信レートが高レートのしきい値を設定します。

低レート検出時のアクション (LowRateAction)

受信レートが低レートのしきい値を超えた場合のアクションをリストから選択します。

低レートしきい値 (LowRateThreshold)

受信レートが低レートのしきい値を設定します。

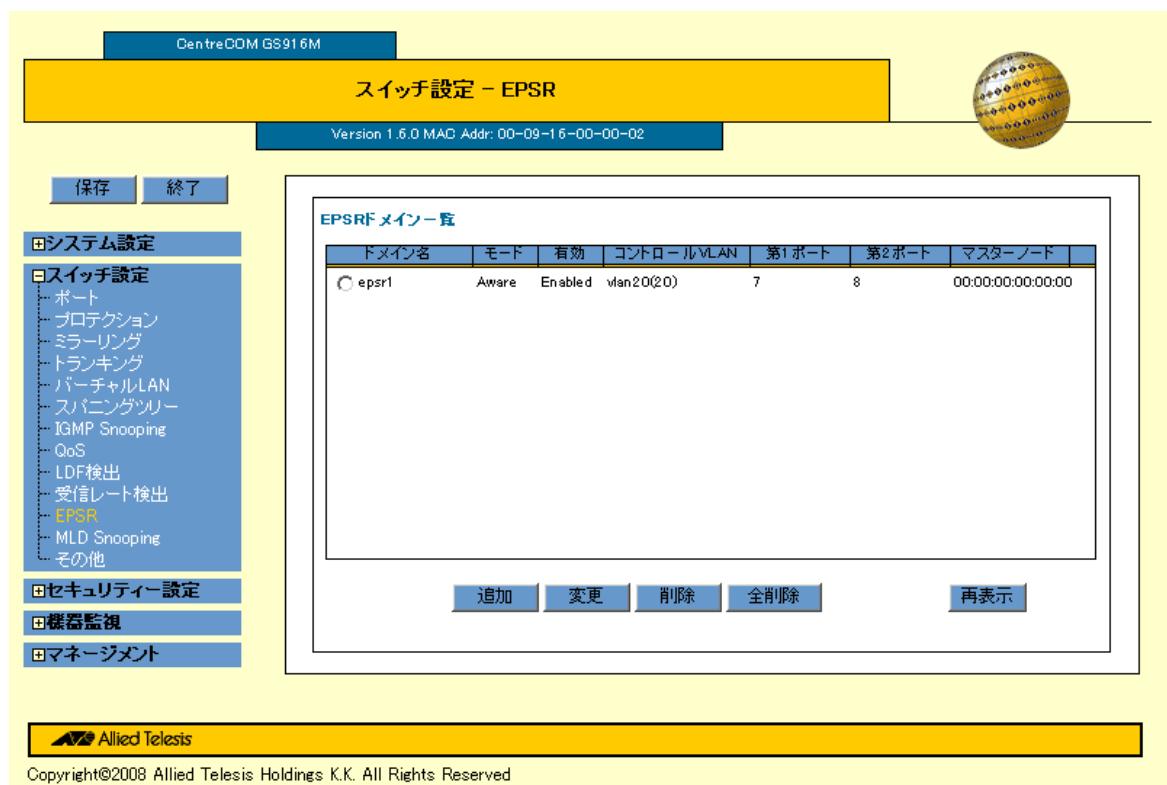
ブロックタイムアウト (BlockTimeout)

アクション実行から実行前の状態への自動復旧の有効 (Enable) / 無効 (Disable) をリストから選択します。有効に設定した場合、アクション実行から復旧までの時間を入力します。

EPSR

イーサネットリングプロテクション (EPSR = Ethernet Protected Switched Ring) のドメインの一覧を表

示します。



「追加」ボタンをクリックすると、「EPSR ドメイン-追加」が表示され、EPSR ドメインを追加することができます。

リストの中から設定を変更したい EPSR ドメインにチェックを付けて、「変更」ボタンをクリックすると、「EPSR ドメイン-変更」が表示され、EPSR ドメインの設定を変更することができます。

リストの中から削除したい EPSR ドメインにチェックを付けて、「削除」ボタンをクリックすると、選択した EPSR ドメインが削除されます。

「全削除」をクリックすると作成済みの EPSR ドメインがすべて削除されます。「全削除」は PURGE EPSR と同じです。EPSR の設定はデフォルト状態に戻り、イングレスフィルタが無効になります。

「再表示」ボタンをクリックすると、EPSR ドメインのリストが更新されます。

表示される項目については、SHOW EPSR コマンド（「スイッチング」の 90 ページ）を参照してください。

EPSR ドメイン-追加

EPSR - Microsoft Internet Explorer

EPSRドメイン - 追加

EPSRドメイン設定

☐ 本ドメインを有効にする

EPSRドメイン名(EpsrDomainName)

モード (Mode) マルチキャストアドレス削除 (DeleteMcast)
 Aware Disabled

コントロール VLAN (ControlVlan) [VLAN名 or 1-4094]

データVLAN一覧

データVLAN名	VID

データVLAN設定

データVLAN(DataVlan) [VLAN名 or 1-4094]

本ドメインを有効にする

EPSR を有効にする場合に、チェックを付けます。

EPSR を無効にする場合に、チェックを外します。

EPSR ドメイン名 (EpsrDomainName)

EPSR ドメイン名を入力します。

モード (Mode)

Aware、Transit から選択可能です。

マルチキャストアドレス削除 (DeleteMcast)

リングトポロジチェンジが発生した場合、IGMP Snooping/MLD Snooping で使用するマルチキャストアドレスを FDB から削除するかどうかを Enabled (削除する) / Disabled (削除しない) で設定します。

コントロール VLAN (ControlVlan)

EPSR ドメインの動作を制御するための VLAN を VLAN 名または、VID で指定します。

データ VLAN 一覧

保護対象の VLAN の一覧を表示します。

データ VLAN (DataVlan)

保護対象の VLAN を VLAN 名または、VID で指定します。各 EPSR ドメインには複数のデータ VLAN を指定可能です。

EPSR ドメイン-変更

The screenshot shows a web browser window titled "EPSR - Microsoft Internet Explorer" displaying the "EPSRドメイン - 変更" (EPSR Domain - Change) page. The page has a yellow background and a blue header bar.

EPSRドメイン設定 (EPSR Domain Settings):

- ☒ **本ドメインを有効にする** (Enable this domain)
- EPSRドメイン名 (EpsrDomainName)**: Input field containing "epsr1".
- モード (Mode)**: Dropdown menu set to "Aware".
- マルチキャストアドレス削除 (DeleteMcast)**: Dropdown menu set to "Disabled".
- コントロールVLAN (ControlVlan)**: Input field containing "20".
- Buttons: **設定** (Settings), **リセット** (Reset).

データVLAN一覧 (Data VLAN List):

データVLAN名	VID

Buttons: **削除** (Delete), **全削除** (Delete All).

データVLAN設定 (Data VLAN Settings):

データVLAN (DataVlan) [VLAN名 or 1-4094]: Input field.

Buttons: **追加** (Add), **リセット** (Reset).

OK button at the bottom.

本ドメインを有効にする

EPSR を有効にする場合に、チェックを付けます。

EPSR を無効にする場合に、チェックを外します。

EPSR ドメイン名 (EpsrDomainName)

EPSR ドメイン名を入力します。

モード (Mode)

Aware、Transit から選択可能です。

マルチキャストアドレス削除 (DeleteMcast)

リングトポロジーチェンジが発生した場合、IGMP Snooping/MLD Snooping で使用するマルチキャストアドレスを FDB から削除するかどうかを Enabled (削除する) / Disabled (削除しない) で設定します。

コントロール VLAN (ControlVlan)

EPSR ドメインの動作を制御するための VLAN を VLAN 名または、VID で指定します。

データ VLAN 一覧

保護対象の VLAN の一覧を表示します。

データ VLAN (DataVlan)

保護対象の VLAN を VLAN 名または、VID で指定します。各 EPSR ドメインには複数のデータ VLAN を指定可能です。

MLD Snooping

MLD Snooping は、VLAN 環境において不要な IPv6 マルチキャストトラフィックをフィルタリングする機能です。

CentreCOM GS916M

スイッチ設定 - MLD Snooping

Version 1.6.0 MAC Addr: 00-09-16-00-00-02

保存 終了

- システム設定
- スイッチ設定**
 - ポート
 - プロテクション
 - ミラーリング
 - トランキング
 - バーチャルLAN
 - スパニングツリー
 - IGMP Snooping
 - QoS
 - LDF検出
 - 受信レポート検出
 - EPSR
 - MLD Snooping**
 - その他
- セキュリティ設定
- 機器監視
- マネージメント

設定

☐ MLD Snooping 有効

タイムアウト時間(Timeout)
 [0-86400](秒)

対象VLAN一覧

VLAN名	VID	ルーターポート

マルチキャストグループ一覧

マルチキャストグループアドレス	メンバーポート

Allied Telesis

Copyright©2008 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

設定

MLD Snooping 有効

MLD Snooping を有効にする場合に、チェックを付けます。

MLD Snooping を無効にする場合に、チェックを外します。

タイムアウト時間 (Timeout)

該当グループの Multicast Listener Report を受信できなくなってから、グループを削除するまでの時間を指定します。

対象 VLAN 一覧

MLD Snooping の対象 VLAN の一覧を表示します。

MLD Snooping 設定-追加

対象 VLAN 一覧の「追加」ボタンをクリックすると、「MLD Snooping 設定-追加」が表示されます。

MLD Snooping の対象となる VLAN とマルチキャストルーターが接続されるポートを設定します。

VLAN

MLD Snooping の対象となる VLAN を VLAN 名または、VID で指定します。

ルーターポート (Ports)

マルチキャストルーターが接続されるポートにチェックを付けます。

マルチキャストグループ一覧

マルチキャストグループの一覧を表示します。

マルチキャストグループ-追加

対象 VLAN 一覧でマルチキャストグループを追加したい VLAN にチェックを付け、マルチキャストグループ一覧の「追加」ボタンをクリックすると、「マルチキャストグループ-追加」が表示されます。

MLD Snooping - Microsoft Internet Explorer

マルチキャストグループ - 追加

VLAN vlan20

マルチキャストグループアドレス(MCGroup)

0 : 0 : 0 : 0 : 0 : 0 : 0 : 0

メンバーポート(Ports)

1 3 5 7 9 11 13 15

☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐

2 4 6 8 10 12 14 16

☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐

追加 リセット

OK

マルチキャストグループアドレス (MCGroup)

MLD Snooping の対象となる IPv6 マルチキャストグループアドレスを指定します。

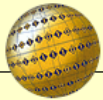
メンバーポート (Ports)

MLD Snooping においてルーターポートで受信したマルチキャストパケットの転送先となるメンバーポートにチェックを付けます。

その他

CentreCOM GS916M

スイッチ設定 - その他



Version 1.6.0 MAC Addr: 00-09-16-00-00-02

システム設定

スイッチ設定

ポート
 プロテクション
 ミラーリング
 トランキング
 バーチャルLAN
 スパニングツリー
 IGMP Snooping
 QoS
 LDF検出
 受信レート検出
 EPRS
 MLD Snooping
 その他

セキュリティ設定

機器監視

マネージメント

フォワーディングデータベース

☒ **エージングタイマー有効**


エージングタイム
 [1-16383](秒)

BPDUパケット透過

☐ **BPDUパケット透過有効**

EAPパケット透過 (※ポート認証が有効な場合、本機能は使用できません)

☐ **EAPパケット透過有効**



Copyright©2008 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

フォワーディングデータベース

フォワーディングデータベース（FDB）のエージングタイマーに関する設定を行います。

エージングタイマー有効

エージングタイマーを有効にする場合に、チェックを付けます。

エージングタイマーを無効にする場合に、チェックを外します。

エージングタイム

エージングタイムを指定します。

BPDU パケット透過

BPDU パケット透過機能の有効/無効を設定します。

BPDU パケット透過有効

BPDU パケット透過機能を有効にする場合にチェックを付けます。

BPDU パケット透過機能を無効にする場合にチェックを外します。

EAP パケット透過

EAP パケット透過機能の有効/無効を設定します。

EAP パケット透過有効

EAP パケット透過機能を有効にする場合にチェックを付けます。

EAP パケット透過機能を無効にする場合にチェックを外します。

セキュリティ設定

ポートセキュリティ

ポートセキュリティ（MAC アドレスに基づき、ポートごとに通信を許可するデバイスを制限する機能）に関する設定を行います。

ポートセキュリティの詳細については、「スイッチング」の章をご覧ください。

「スイッチング」の章では、コマンドラインインターフェースを使って説明していますが、Web GUI でも同じことができます。

CentreCOM GS916M

セキュリティ設定 - ポートセキュリティ

Version 1.6.0 MAC Addr: 00-09-16-00-00-02

保存 終了

システム設定
 スイッチ設定
 セキュリティ設定
 ポートセキュリティ
 RADIUSサーバー
 ポート認証
 機器監視
 マネージメント

ポート一覧

ポート	モード
<input type="checkbox"/> 1	Automatic
<input type="checkbox"/> 2	Automatic
<input type="checkbox"/> 3	Automatic
<input type="checkbox"/> 4	Automatic
<input type="checkbox"/> 5	Automatic
<input type="checkbox"/> 6	Automatic
<input type="checkbox"/> 7	Automatic
<input type="checkbox"/> 8	Automatic
<input type="checkbox"/> 9	Automatic
<input type="checkbox"/> 10	Automatic
<input type="checkbox"/> 11	Automatic
<input type="checkbox"/> 12	Automatic
<input type="checkbox"/> 13	Automatic
<input type="checkbox"/> 14	Automatic
<input type="checkbox"/> 15	Automatic
<input type="checkbox"/> 16	Automatic

変更 全ポート変更 再表示

Allied Telesis

Copyright©2008 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

ポート一覧

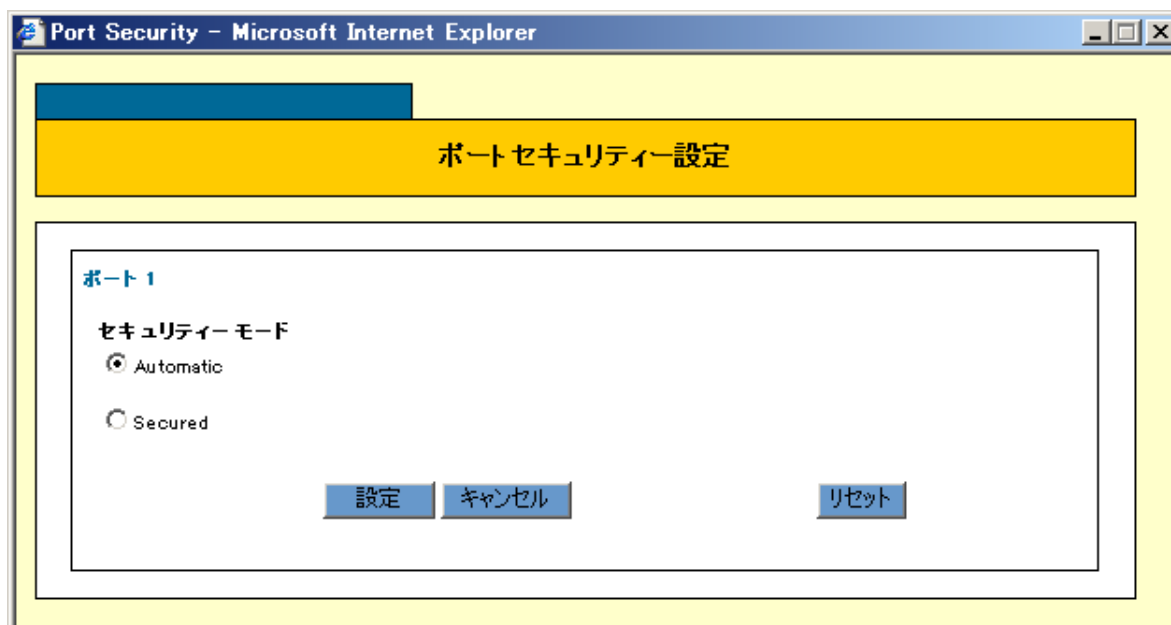
ポートセキュリティの状態が一覧で表示されます。

一覧の中から、設定を変更したいポートにチェックを付け、「変更」ボタンをクリックすると、「ポートセキュリティ設定」が表示されます。

「再表示」ボタンをクリックすると、表示が更新されます。

ポートセキュリティ設定

「ポートセキュリティ設定」で、ポートセキュリティの設定を行います。



- 1つのポート番号を選択して「変更」ボタンをクリックした場合は、設定項目には現在の設定が表示されますが、複数のポート番号を選択して「変更」ボタンをクリックした場合には、設定項目はデフォルト値が表示されます。

セキュリティモード

セキュリティモードを有効にする場合は、「Secured」にチェックを付けます。

セキュリティモードを解除する場合は、「Automatic」にチェックを付けます。

- ポートセキュリティが有効なポートに対して、通信を許可するアドレスを手動登録するには、「機器監視」 - 「FDB」の「スタティックエントリ登録」で、スタティック MAC アドレスを登録します。

RADIUS サーバー

ユーザー認証、ポート認証で使用する RADIUS サーバー（Remote Authentication Dial In User Server）の登録および、RADIUS サーバーのアカウントिंग機能に関する設定を行います。

RADIUS サーバーの詳細については、「ポート認証」の章をご覧ください。

「ポート認証」の章では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも同じことができます。

CentreCOM GS916M

セキュリティ設定 - RADIUSサーバー

Version 1.6.0 MAC Addr: 00-09-16-00-00-02

保存 終了

☒ システム設定
☒ スイッチ設定
☒ セキュリティ設定
 ポートセキュリティ
 RADIUSサーバー
 ポート認証
☒ 機器監視
☒ マネージメント

RADIUSアカウント設定

☐ アカウンティング有効(Status)
 アカウンティングポート番号(ServerPort)
 1813 [1~65535]

アカウンティング情報蓄積タイプ(Type)
 Network

アカウンティング開始タイミング(Trigger)
 Start Stop

☐ インターリムパケット送信有効(UpdateEnable)
 インターリムパケット送信間隔(Interval)
 60 [30~300](秒)

設定 リセット

RADIUSクライアント設定

応答待ち時間(Timeout)
 6 [1~15](秒)

要求抑制時間(Deadtime)
 0 [0~1440](分)

再送回数(Retransmitcount)
 3 [1~5](回)

RADIUSサーバー無応答時の動作(DEAD-ACTION)
 拒否(Deny)

設定 リセット

認証サーバーリスト

優先順位	サーバー	ポート	パスワード	リクエスト	リプライ	ステータス
<input checked="" type="radio"/> 1	0.0.0.0	1812	<Not Defined>	0	0	Alive
<input type="radio"/> 2	0.0.0.0	1812	<Not Defined>	0	0	Alive

変更 再表示

Allied Telesis

Copyright©2008 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

RADIUS アカウント設定

アカウンティング設定

RADIUS サーバーのアカウンティング機能を有効にする場合にチェックを付けます。

RADIUS サーバーのアカウンティング機能を無効にする場合にチェックを外します。

アカウンティングポート番号 (ServerPort)

RADIUS サーバーのアカウンティング用 UDP ポート番号を指定します。

アカウンティングポート情報蓄積タイプ (Type)

アカウンティング情報を転送して蓄積する場所を、リストから選択します。

アカウンティングポート開始タイミング (Trigger)

アカウントिंग要求パケットをサーバーに送出するタイミングをリストから選択します。

インターリムパケット送信有効 (UpdateEnable)

ユーザーが利用中に、利用状況をサーバーに送信するアカウントING要求 (インターリム) パケットを送信する場合はチェックを付けます。

インターリムパケット送信間隔 (Interval)

インターリムパケットを送信する間隔を設定します。

RADIUS クライアント設定

応答待ち時間 (Timeout)

RADIUS サーバーへの要求に対する応答待ち時間を 1～15 秒の範囲で設定します。デフォルトは 6 秒。

要求抑制時間 (Deadtime)

RADIUS サーバーへの要求が規定回数 (1 + RETRANSMITCOUNT 回) タイムアウトしたときに、該当サーバーが「使用不可」と見なし同サーバーの使用を抑制する時間を 0～1440 分の範囲で設定します。デフォルトは 0 分。

再送回数 (Retransmitcount)

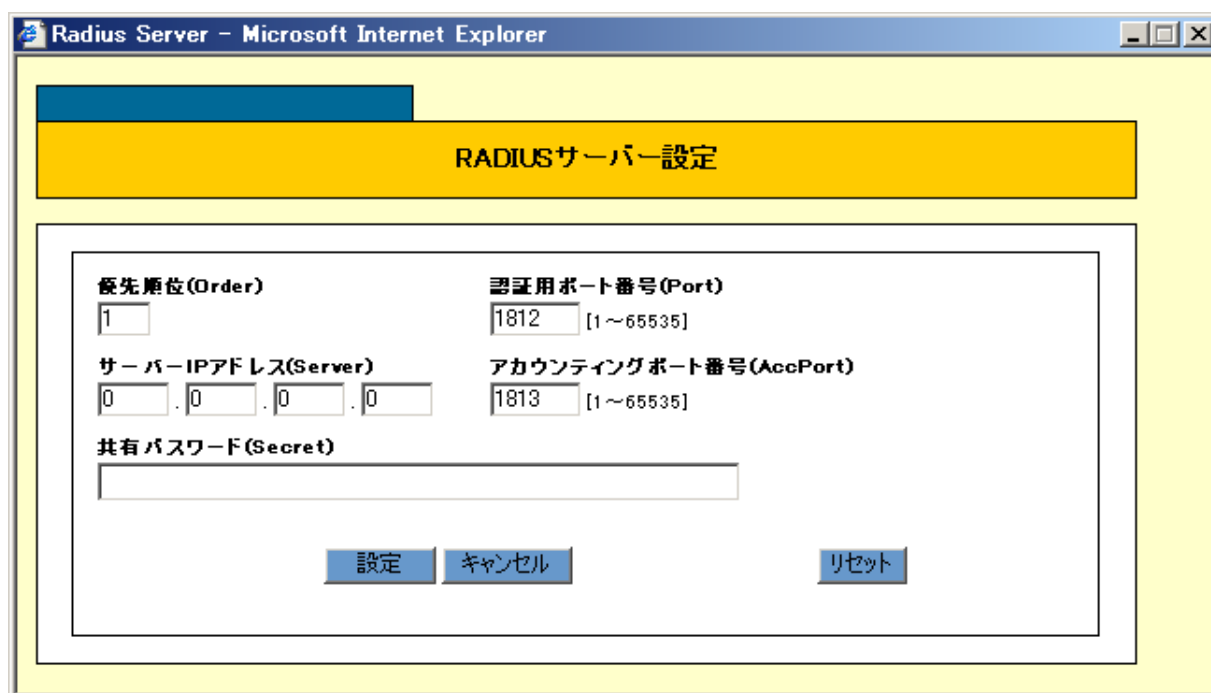
RADIUS サーバーへの要求再送回数を 1～5 回の範囲で設定します。デフォルトは 3 回。

RADIUS サーバー無応答時の動作 (DEAD-ACTION)

RADIUS サーバーからの応答がないとき、通信を許可する/許可しないを選択します。デフォルトは許可しない。

RADIUS サーバー設定

認証サーバーリストで、設定を変更するサーバーにチェックを付け、「変更」ボタンをクリックすると、「RADIUS サーバー設定」が表示されます。



RADIUSサーバー設定

優先順位 (Order) 1	認証用ポート番号 (Port) 1812 [1 ~ 65535]
サーバーIPアドレス (Server) 0 . 0 . 0 . 0	アカウントングポート番号 (AccPort) 1813 [1 ~ 65535]
共有パスワード (Secret) <input type="text"/>	

設定 キャンセル リセット

「RADIUS サーバー設定」で、RADIUS サーバーに関する設定を行います。

優先順位 (Order)

RADIUS サーバーの優先順位を指定します。「1」固定です。

認証用ポート番号 (Port)

RADIUS サーバーの認証用 UDP ポート番号を指定する。

サーバー IP アドレス (Server)

RADIUS サーバーの IP アドレスを指定する。

アカウントングポート番号 (AccPort)

RADIUS サーバーのアカウントング用 UDP ポート番号を指定します。

共有パスワード (Secret)

RADIUS サーバーとの通信に使う共有パスワードを指定します。

ポート認証

ポート単位で LAN 上の機器を認証する IEEE 802.1X 認証（以下、ポート認証）に関する設定を行います。ポート認証の詳細については、「ポート認証」の章をご覧ください。

「ポート認証」の章では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも同じことができます。

CentreCOM GS916M

セキュリティ設定 - ポート認証

Version 1.6.0 MAC Addr: 00-09-16-00-00-02

保存 終了

☒ システム設定
☒ スイッチ設定
☒ セキュリティ設定
 -- ポートセキュリティ
 -- RADIUSサーバー
 -- **ポート認証**
☐ 機器監視
☐ マネージメント

ポートアクセス設定 (*EAPパケット透過が有効な場合、本機能は使用できません)

☐ ポート認証有効 802.1X認証プロトコル(Method)
 RADIUS EAP

設定 リセット

ポート一覧

ポート	認証	タイプ	VLAN	モード	認証状態	状態	追加情報
<input type="checkbox"/> 1	----	None	----	----	----	----	-----
<input type="checkbox"/> 2	----	None	----	----	----	----	-----
<input type="checkbox"/> 3	----	None	----	----	----	----	-----
<input type="checkbox"/> 4	----	None	----	----	----	----	-----
<input type="checkbox"/> 5	----	None	----	----	----	----	-----
<input type="checkbox"/> 6	----	None	----	----	----	----	-----
<input type="checkbox"/> 7	----	None	----	----	----	----	-----
<input type="checkbox"/> 8	----	None	----	----	----	----	-----
<input type="checkbox"/> 9	----	None	----	----	----	----	-----
<input type="checkbox"/> 10	----	None	----	----	----	----	-----
<input type="checkbox"/> 11	----	None	----	----	----	----	-----

変更 全ポート変更 Supplicant MAC透過設定 再表示

Allied Telesis
 Copyright©2008 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

ポートアクセス設定

ポート認証有効

ポート認証モジュールを有効にする場合にチェックを付けます。

ポート認証モジュールを無効にする場合にチェックを外します。

認証プロトコル

ポート認証モジュールで使用する認証プロトコルを、リストから選択します。

ポート一覧

ポートごとのポート認証の設定と状態が一覧で表示されます。

一覧から設定を変更するポートにチェックを付け、「変更」ボタンをクリックすると、「ポート認証 - ポート設定」が表示されます。

「全ポート変更」ボタンをクリックすると、すべてのポートの設定を変更することができます。

ポート設定

「ポート認証 - ポート設定」で、ポートのポート認証の設定を行います。

- 1つのポート番号を選択して「変更」ボタンをクリックした場合は、設定項目には現在の設定が表示されますが、複数のポート番号を選択して「変更」ボタンをクリックした場合には、設定項目はデフォルト値が表示されます。

ポート認証機能無効

ポートのポート認証機能を無効にしたい場合は、「ポート認証無効」をチェックを付けます。

Port Authentication - Microsoft Internet Explorer

ポート認証 - ポート設定

ポート all

☒ ポート認証無効
 ☐ Authenticatorポート
 ☐ Supplicantポート

Supplicant ポートの設定

ポートを Supplicant ポートに指定したい場合は、「Supplicant ポート」にチェックを付け、次の項目を設定します。

Port Authentication - Microsoft Internet Explorer

ポート認証 - ポート設定

ポート all

☐ ポート認証無効 ☐ Authenticatorポート ☒ Supplicantポート

認証方法 (PortAuth) (*ミラーポート/ランク/ブス/パニング/ツリー/ブセキュリティポートでは設定できません)

802.1X

応答待ち時間 (AuthPeriod) 30 [1-300](秒)

EAPOL-Start再送信間隔 (StartPeriod) 30 [1-60](秒)

認証失敗時の無通信時間 (HeldPeriod) 60 [0-65535](秒)

ユーザー名 (UserName)

EAPOL-Start最大送信回数 (MaxStart) 3 [1-10](回)

パスワード (UserPassword)

設定 キャンセル リセット

- 認証方法 (PortAuth) : 認証方法。802.1X (802.1X 認証) のみ
- 応答待ち時間 (AuthPeriod) : Authenticator に EAP-Response パケットを送信した後、Authenticator からの応答を待つ時間を指定
- 認証失敗時の無通信時間 (HeldPeriod) : 認証失敗後、Authenticator との通信を試みない期間を指定
- EAPOL-Start 最大送信回数 (MaxStart) : EAPOL-Start パケットの最大送信回数を指定
- EAPOL-Start 再送信間隔 (StartPeriod) : Authenticator に EAPOL-Start パケットを再送信する間隔を指定

- ユーザー名 (UserName) : 指定スイッチポートが Supplicant として動作する場合に使うユーザー名を指定。必ずパスワードと組で指定
- パスワード (UserPassword) : 指定スイッチポートが Supplicant として動作する場合に使うパスワードを指定。必ずユーザー名と組で指定

Authenticator ポートの設定

ポートを Authenticator ポートに指定したい場合は、「Authenticator ポート」にチェックを付け、次の項目を設定します。

Port Authentication - Microsoft Internet Explorer

ポート認証 - ポート設定

ポート all

☐ ポート認証無効 ☒ Authenticatorポート ☐ Supplicantポート

認証方法 (PortAuth) (*ミラーポート/トラップポート/パニングツリーポート/セキュリティポートでは設定できません)
 802.1X

モード (Mode)
 Single

ポートコントロール (Control)
 Auto

Supplicant再認証 (ReauthEnabled)
 Enabled

Supplicantタイムアウト時間 (SuppTimeout)
 30 [1-600](秒)

Serverタイムアウト時間 (ServerTimeout)
 30 [1-600](秒)

Piggy backモード (PiggyBack)
 Disabled

ダイナミックVLAN (Vlan Assignment) (*マルチブルVLANに所属するポートは、Enabledには設定できません)
 Enabled

ゲストVLAN (GuestVlan) ゲストVLAN [VLAN名 or 1-4094]
 Disabled

Secure VLAN
 On

認証失敗後の通信拒否期間 (QuietPeriod)
 60 [0-65535](秒)

Supplicant再認証周期 (ReauthPeriod)
 3600 [1-86400](秒)

EAPOL-Request最大送信回数 (MaxReq)
 2 [1-10](回)

EAPOL再送信周期 (TxPeriod)
 30 [1-65535](秒)

設定 キャンセル リセット

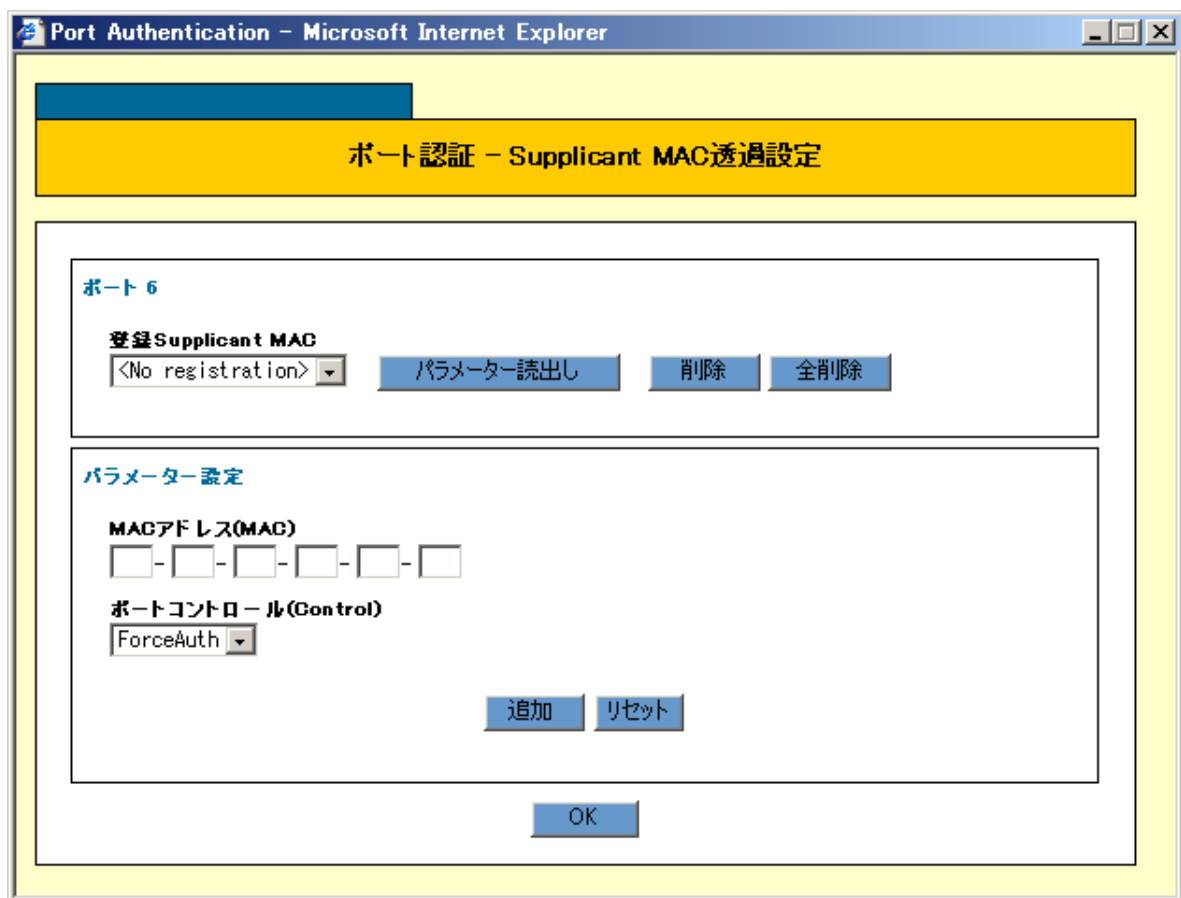
- 認証方法 (PortAuth) : 認証方法。802.1X (802.1X 認証) のみ

- モード (Mode) : Single、Multi から選択
- ポートコントロール (Control) : 手動設定による Authenticator ポートの状態をリストから選択
- 認証失敗後の通信拒否期間 (QuietPeriod) : Supplicant の認証に失敗した後、Supplicant との通信を拒否する期間を指定
- Supplicant 再認証 (ReauthEnabled) : Supplicant ポートの再認証を行うかどうかをリストから選択
- Supplicant 再認証間隔 (ReauthPeriod) : Supplicant の再認証間隔を指定
- Supplicant タイムアウト時間 (SuppTimeout) : Supplicant に EAP-Request を送信した後、Supplicant からの応答を待つ時間を指定
- EAPOL-Request の最大送信回数 (MaxReq) : Supplicant に対する EAPOL-Request パケットの最大再送回数を指定
- Server タイムアウト時間 (ServerTimeout) : RADIUS サーバーに Access-Request を送信した後、RADIUS サーバーからの応答を待つ時間を指定
- EAPOL 再送間隔 (TxPeriod) : Supplicant に EAPOL パケットを再送信する間隔を指定
- Piggy back モード (PiggyBack) : Piggy back モードの有効/無効を選択
- ダイナミック VLAN (VlanAssignment) : 有効/無効を選択
- ゲスト VLAN (GuestVlan) : 有効/無効を選択
- Secure VLAN : On/Off を選択

Supplicant MAC 透過設定

「ポート認証 - Supplicant MAC 透過設定」で、ポートの Supplicant MAC 透過アドレスの設定を行います。

- ✧ Supplicant MAC 透過設定では、複数のポートを選択することはできません。



登録 Supplicant MAC

既に登録されている Supplicant MAC 透過アドレスを選択します。

「パラメーター読出し」ボタンをクリックすると、選択した Supplicant MAC 透過アドレスが「パラメーター設定」に表示されます。

「削除」ボタンをクリックすると、確認のダイアログボックスが表示されます。「OK」ボタンをクリックすると、選択した MAC アドレスは削除されます。「キャンセル」ボタンをクリックすると、MAC アドレスは削除されません。

「全削除」ボタンをクリックすると、確認のダイアログボックスが表示されます。「OK」ボタンをクリックすると、該当ポートに登録されたすべての Supplicant MAC 透過アドレスが削除されます。「キャンセル」ボタンをクリックすると、MAC アドレスは削除されません。

パラメーター設定

MAC アドレス (MAC)

登録する MAC アドレスを指定します。

ポートコントロール (Control)

手動設定による Authenticator ポートの状態をリストから選択します。

機器監視

システム情報

システム情報を表示します。

CentreCOM GS916M

機器監視 - システム情報

Version 1.6.0 MAC Addr: 00-09-16-00-00-02

保存 終了

システム設定

スイッチ設定

セキュリティ設定

機器監視

システム情報

ログ

統計カウンター

FDB

LDF検出

受信レポート検出

EPSP

IGMP Snooping

MLD Snooping

マネージメント

1 3 5 7 9 11 13 15R

2 4 6 8 10 12 14 16R

Active Disabled

表示更新

自動更新 ☒ する ☐ しない

更新回数 1 [1-99] (分) 設定

システム情報

SysDescription	CentreCOM GS916M Ver 1.6.0 B07
SysContact	
SysLocation	
SysName	
SysUpTime	121 429(00:20:14)
Release Version	1.6.0
Release built	B07 (Nov 14 2008 at 14:59:25)

ハードウェア情報

DRAM	32768 KB
Flash	8192 KB
MAGアドレス	00-09-16-00-00-02

Flash PROM	RAM	SW chip	UART	温度	FAN1	FAN2
Good	Good	Good	Good	Normal	Normal	Normal

電圧

1.25V	1.8V	2.5V	3.3V	5.0V
Normal	Normal	Normal	Normal	Normal

詳細情報表示

詳細情報保存

Allied Telesis

Copyright©2008 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

ポートの状態表示

ポートの状態は、メインエリアの製品前面の図の中に、下記の状態がグラフィカルに表示されます。



100BASE-T ポートがリンクしていない状態



100BASE-T ポートがリンクしている状態



100BASE-T ポートがリンクしているが、無効の状態



SFP ポートに SFP が挿入されている状態



SFP がリンクしている状態

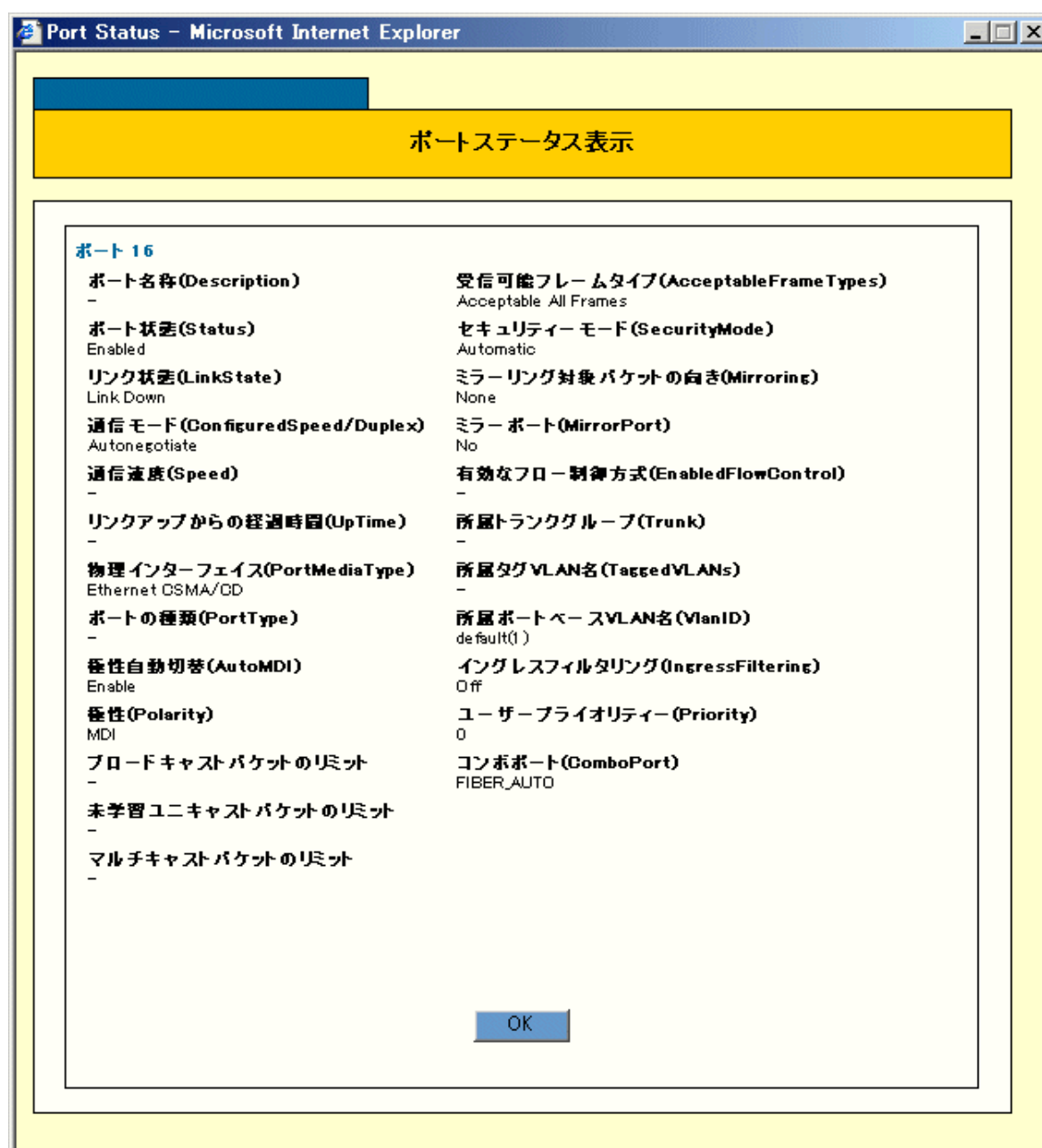


SFP がリンクしているが無効の状態

＼ 本製品の SFP スロットの状態は、常に、SFP モジュールが挿入されている状態として表示されます。

ポートステータス表示

製品前面図の中のポートの部分をクリックすると、「ポートステータス表示」が表示されます。
表示される項目については、SHOW SWITCH PORT コマンド（「スイッチング」の 103 ページ）を参照してください。



システム情報の自動更新

システム情報は、1 分ごとに自動的に更新されます。

自動更新を行いたくない場合は、「自動更新」の「しない」にチェックを付けます。

また、「表示更新」ボタンをクリックすると、手動で情報を更新することもできます。

自動更新の間隔は 1 ~ 99 分に変更できます。

- 自動更新の間隔、自動更新するかどうかの設定は、Cookie に保存されます。Cookie は、同じコンピューターからの同じホストに対する設定を保持し、次の Internet Explorer 起動時も、同じ状態になります。Internet Explorer の設定で、Cookie が無効になっていた場合は、次の Internet Explorer 起動時は、「自動更新する」。

「自動更新の間隔は 1 分」の設定になります。

システム情報/ハードウェア情報

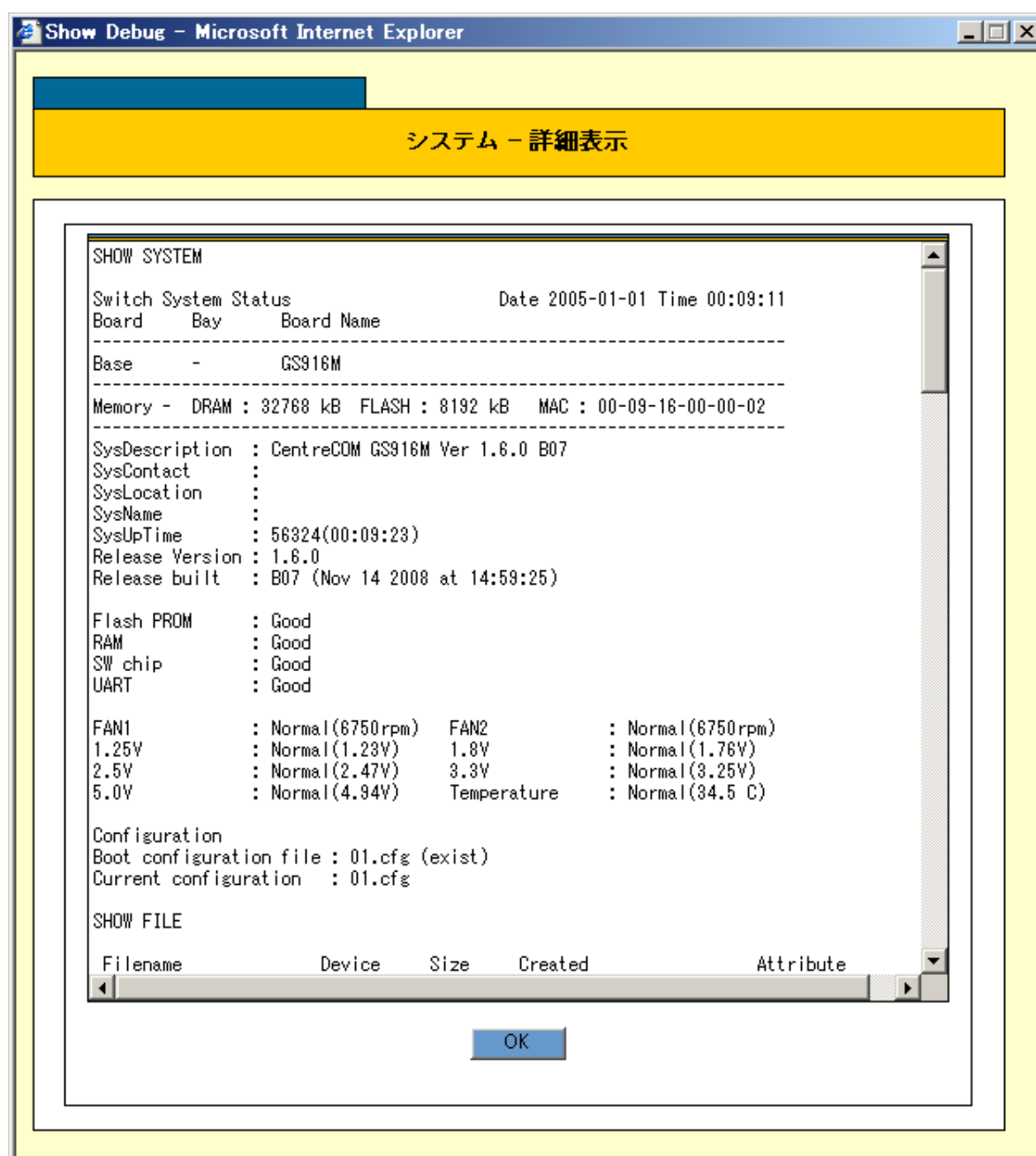
システムの情報が表示されます。表示される項目については、SHOW SYSTEM コマンド（「運用・管理」の 191 ページ）を参照してください。

詳細情報

「詳細情報表示」ボタンをクリックすると、「システム-詳細表示」が表示されます。

「システム-詳細表示」には、SHOW SYSTEM コマンド（「運用・管理」の 191 ページ）の実行結果、SHOW FILE コマンド（「運用・管理」の 157 ページ）の実行結果、SHOW CONFIG コマンド（「運用・管理」の 151 ページ）で DYNAMIC を指定した実行結果、SHOW LOG コマンド（「運用・管理」の 166 ページ）の実行結果が続けて表示されます。

「詳細情報保存」ボタンをクリックすると、SHOW SYSTEM コマンド（「運用・管理」の 191 ページ）の実行結果、SHOW FILE コマンド（「運用・管理」の 157 ページ）の実行結果、SHOW CONFIG コマンド（「運用・管理」の 151 ページ）で DYNAMIC を指定した実行結果、SHOW LOG コマンド（「運用・管理」の 166 ページ）の実行結果、SHOW CRASHLOG コマンド（「運用・管理」の 155 ページ）の実行結果がテキスト形式で保存できます。



ログ

ログやログカウンターを表示します。

CentreCOM GS916M

機器監視 - ログ

Version 1.6.0 MAC Addr: 00-09-16-00-00-02

保存 終了

☒ システム設定
☒ スイッチ設定
☒ セキュリティ設定
☒ 機器監視
 システム情報
 統計カウンター
 FDB
 LDF検出
 受信レート検出
 EPPR
 IGMP Snooping
 MLD Snooping
☒ マネージメント

ログカウンター

ログ生成数 :	5
Temporaryへの出力数 :	5
Syslogへの出力数 :	0

ログクリア

ログ表示条件

表示順: 古い順
表示件数: 3000 [0-3000](件)

ログ表示 ログ保存

Allied Telesis

Copyright©2008 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

ログカウンター

ログ機能の診断カウンターを表示します。

表示される項目については、SHOW LOG COUNTER コマンド (「運用・管理」の 169 ページ) を参照してください。

ログ表示条件

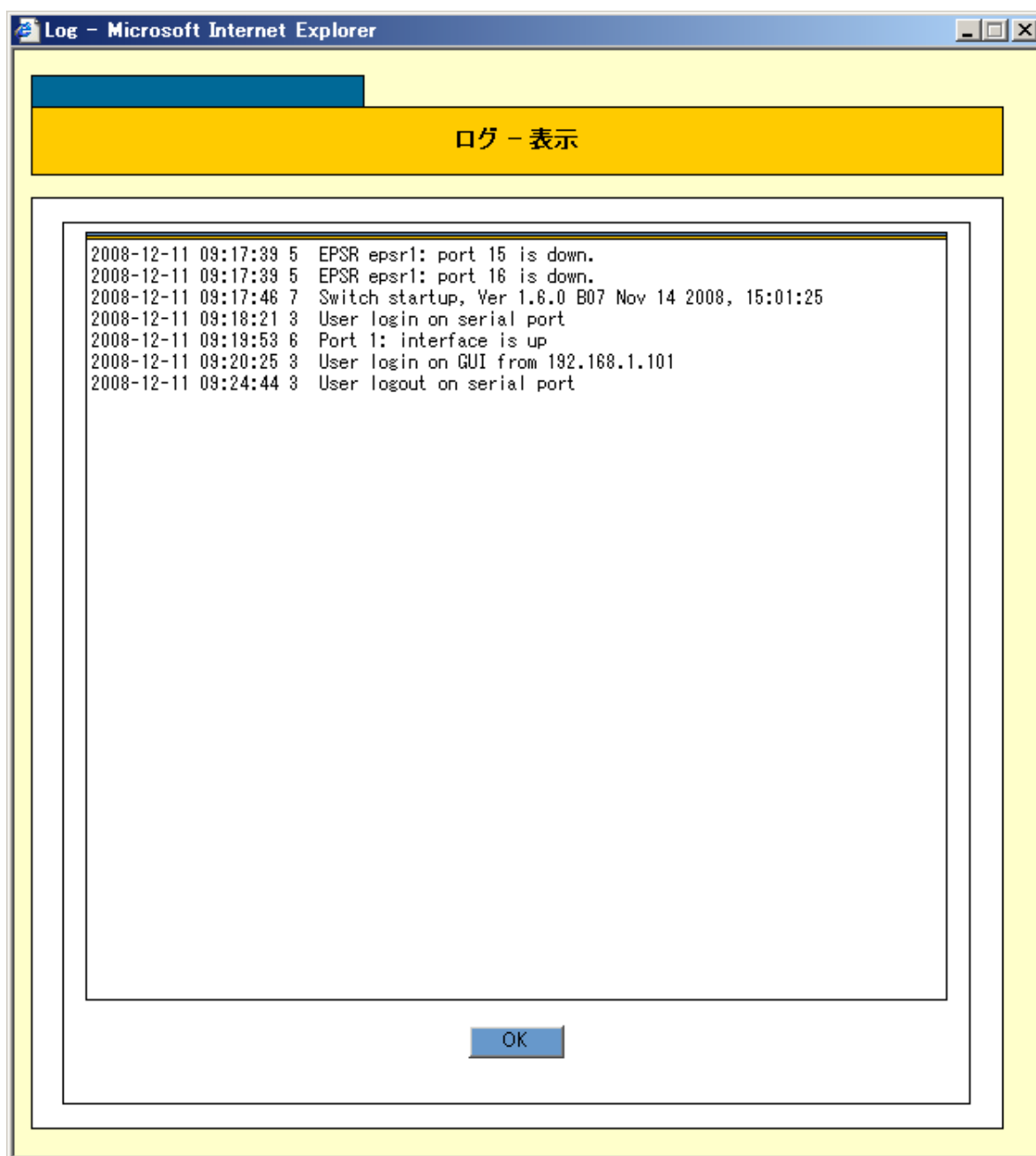
ログの表示順と表示件数を設定します。

「表示順」のリストから、ログの表示順を選択します。

「表示件数」で、表示するログの件数を指定します。

「ログ保存」ボタンをクリックすると、ログがテキスト形式で保存できます。

「ログ表示」ボタンをクリックすると、「ログ - 表示」が表示されます。



統計カウンター

統計情報を表示します。

スイッチカウンター

スイッチングモジュールの統計カウンターを表示します。

表示される項目については、SHOW SWITCH COUNTER コマンド（「スイッチング」の 97 ページ）を参照してください。

CentreCOM GS916M

機器監視 - 統計カウンター

Version 1.6.0 MAC Addr: 00-09-16-00-00-02

保存 終了

- システム設定
- スイッチ設定
- セキュリティ設定
- 機器監視
 - システム情報
 - ログ
 - 統計カウンター
 - FDB
 - LDF検出
 - 受信レポート検出
 - EPSR
 - IGMP Snooping
 - MLD Snooping
- マネージメント

スイッチカウンター

受信	送信
packets: 3135	packets: 4269
errors: 0	errors: 0

[カウンタークリア](#)

ポート一覧

ポート	受信	受信(エラー)	送信	送信(エラー)
<input type="radio"/> 1	245	0	323	0
<input type="radio"/> 2	0	0	0	0
<input type="radio"/> 3	0	0	0	0
<input type="radio"/> 4	0	0	0	0
<input type="radio"/> 5	0	0	0	0
<input type="radio"/> 6	0	0	0	0
<input type="radio"/> 7	0	0	0	0
<input type="radio"/> 8	0	0	0	0
<input type="radio"/> 9	0	0	0	0
<input type="radio"/> 10	0	0	0	0
<input type="radio"/> 11	0	0	0	0
<input type="radio"/> 12	0	0	0	0
<input type="radio"/> 13	0	0	0	0
<input type="radio"/> 14	0	0	0	0

[ポートカウンター表示](#)
[全ポートカウンタークリア](#)
[再表示](#)

Allied Telesis
 Copyright©2008 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

ポート一覧

スイッチポートの統計カウンターの簡易一覧が表示されます。

一覧から詳細を表示するポート番号にチェックを付け、「ポートカウンター表示」ボタンをクリックすると、「ポートカウンター表示」が表示されます。

「全ポートカウンタークリア」ボタンをクリックすると、すべてのポートのカウンターがクリアされます。

「再表示」ボタンをクリックすると、統計情報が更新されます。

ポートカウンター表示

「ポートカウンター表示」には、統計カウンターの詳細が表示されます。表示される項目については、SHOW SWITCH PORT COUNTER コマンド（「スイッチング」の 109 ページ）を参照してください。

「カウンタークリア」ボタンをクリックすると、表示しているポートのカウンターのみがクリアされます。



FDB

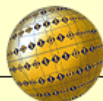
フォワーディングデータベース (FDB) の内容を表示します。また、スタティックエントリーの追加も行います。

フォワーディングデータベースの詳細については、「フォワーディングデータベース」の章をご覧ください。「フォワーディングデータベース」の章では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも同じことができます。

CentreCOM GS915M

機器監視 - FDB

Version 1.6.0 MAC Addr: 00-09-16-00-00-02



保存

終了

システム設定

スイッチ設定

セキュリティ設定

機器監視

管理

FDB表示条件

エントリー種別

MACアドレス(MAC)

VLAN名(VID)

ポート

1 3 5 7 9 11 13 15

2 4 6 8 10 12 14 16

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

トランクグループ名(ID)

FDB表示

リセット

スタティックエントリー登録

ポート番号

VLAN名(VID)

MACアドレス(MAC)

(※マルチプルVLANモード時は無効です)

登録

リセット

スタティックエントリー削除

ポート番号

VLAN名(VID)

MACアドレス(MAC)


(※MACアドレス未設定時は、指定ポートの全エントリーが削除されます)

削除

リセット

全ダイナミックエントリー削除

削除



Copyright©2008 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

FDB 表示条件

条件を設定することにより、表示するエントリーを絞り込むことができます。

エントリー種別

エントリーの種別をリストから選択します。

MAC アドレス (MAC)

表示の対象となるアドレスを指定します。

VLAN 名 (VID)

VLAN 名、または VLAN ID を指定します。指定した VLAN に所属するエントリーだけが表示されます。

トランクグループ名 (ID)

トランクグループ名、またはトランクグループ ID を指定します。指定したグループに所属するエントリー

だけが表示されます。

ポート

該当 MAC アドレスを持つ機器が接続されているポートを指定します。

「FDB 表示」ボタンをクリックすると、「FDB - 表示」が表示されます。

FDB 表示

「FDB - 表示」には、設定された条件にあった FDB が表示されます。

「再表示」ボタンをクリックすると、表示が更新されます。

FDB - 表示

Switch Forwarding Database (Software)

VLAN	MAC Address	Status	Port
1	00-00-f4-95-97-9a	Dynamic	1
1	00-03-7f-bf-06-02	Dynamic	1
1	00-03-93-6b-bf-4e	Dynamic	1
1	00-06-5b-88-80-41	Dynamic	1
1	00-09-16-00-00-02	Static	CPU
1	00-0a-79-34-0f-15	Dynamic	5
1	00-0a-95-a2-bf-8a	Dynamic	1
1	00-0f-1f-43-10-f1	Dynamic	1
1	00-20-4a-84-33-55	Dynamic	1
1	00-50-e4-fa-02-4a	Dynamic	1
1	00-80-92-35-5e-dc	Dynamic	1
1	00-90-99-15-07-fd	Dynamic	1
1	00-e0-18-8a-30-ad	Dynamic	1

再表示
閉じる

スタティックエントリー登録

FDB に、スタティックエントリー（スイッチフィルター）を登録します。

ポート番号

対象となるスイッチポート番号を指定します。

VLAN 名 (VID)

VLAN 名か VLAN ID (VID) を指定します。出力ポートに VLAN タグが設定されている場合に指定します。

MAC アドレス

登録する MAC アドレスを指定します。

「登録」ボタンをクリックすると、スタティックエントリーが登録されます。

スタティックエントリー削除

ポート番号

該当エントリーの出力ポート番号を指定します。

VLAN 名 (VID)

VLAN 名か VLAN ID (VID) を指定します。

MAC アドレス

削除する MAC アドレスを指定します。

「削除」ボタンをクリックすると、スタティックエントリーが削除されます。

全ダイナミックエントリー削除

「削除」ボタンをクリックすると、ダイナミックに学習した MAC アドレスの登録がすべて削除されます。スタティックに登録した MAC アドレスは消去されません。

LDF 検出

LDF 検出機能によるカウンターの簡易一覧を表示します。

CentreCOM GS916M

機器監視 - LDF検出

Version 1.6.0 MAC Addr: 00-09-16-00-00-02

保存 終了

- システム設定
- スイッチ設定
- セキュリティ設定
- 機器監視
 - システム情報
 - ログ
 - 統計カウンター
 - FDB
 - LDF検出**
 - 受信レート検出
 - EPSR
 - IGMP Snooping
 - MLD Snooping
- マネージメント

ポート一覧

ポート	LDF送信	LDF受信	アクション実行	受信破棄
<input type="checkbox"/> 1 0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 2 0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 3 0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 4 0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 5 0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 6 0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 7 0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 8 0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 9 0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 10 0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 11 0	0	0	0	0

カウンタークリア 全ポートカウンタークリア 再表示

Allied Telesis

Copyright©2008 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

一覧からカウンターをクリアするポート番号にチェックを付け、「カウンタークリア」ボタンをクリックすると、選択したポートのカウンターがクリアされます。

「全ポートカウンタークリア」ボタンをクリックすると、すべてのポートのカウンターがクリアされます。

「再表示」ボタンをクリックすると、統計情報が更新されます。

表示される項目については、SHOW SWITCH LOOPDETECTION コマンド（「スイッチング」の98ページ）を参照してください。

受信レート検出

受信レート検出機能によるカウンターの簡易一覧を表示します。

CentreCOM GS916M

機器監視 - 受信レート検出

Version 1.6.0 MAC Addr: 00-09-16-00-00-02

保存 終了

- システム設定
- スイッチ設定
- セキュリティ設定
- 機器監視
 - システム情報
 - ログ
 - 統計カウンター
 - FDB
 - LDF検出
 - 受信レート検出
 - EPSR
 - IGMP Snooping
 - MLD Snooping
- マネージメント

ポート一覧

ポート	高レート検出	アクション実行	低レート検出	アクション実行	受信レート(Kbps)
<input type="checkbox"/> 1	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 2	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 3	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 4	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 5	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 6	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 7	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 8	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 9	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 10	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 11	0	0	0	0	0

カウンタークリア
全ポートカウンタークリア
再表示

Allied Telesis

Copyright©2008 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

一覧からカウンターをクリアするポート番号にチェックを付け、「カウンタークリア」ボタンをクリックすると、選択したポートのカウンターがクリアされます。

「全ポートカウンタークリア」ボタンをクリックすると、すべてのポートのカウンターがクリアされます。

「再表示」ボタンをクリックすると、統計情報が更新されます。

表示される項目については、SHOW SWITCH STORMDETECTION コマンド（「スイッチング」の 111 ページ）を参照してください。

EPSR

EPSR ドメインの一覧を表示します。

表示される項目については、SHOW EPSR コマンド（「スイッチング」の 90 ページ）を参照してください。

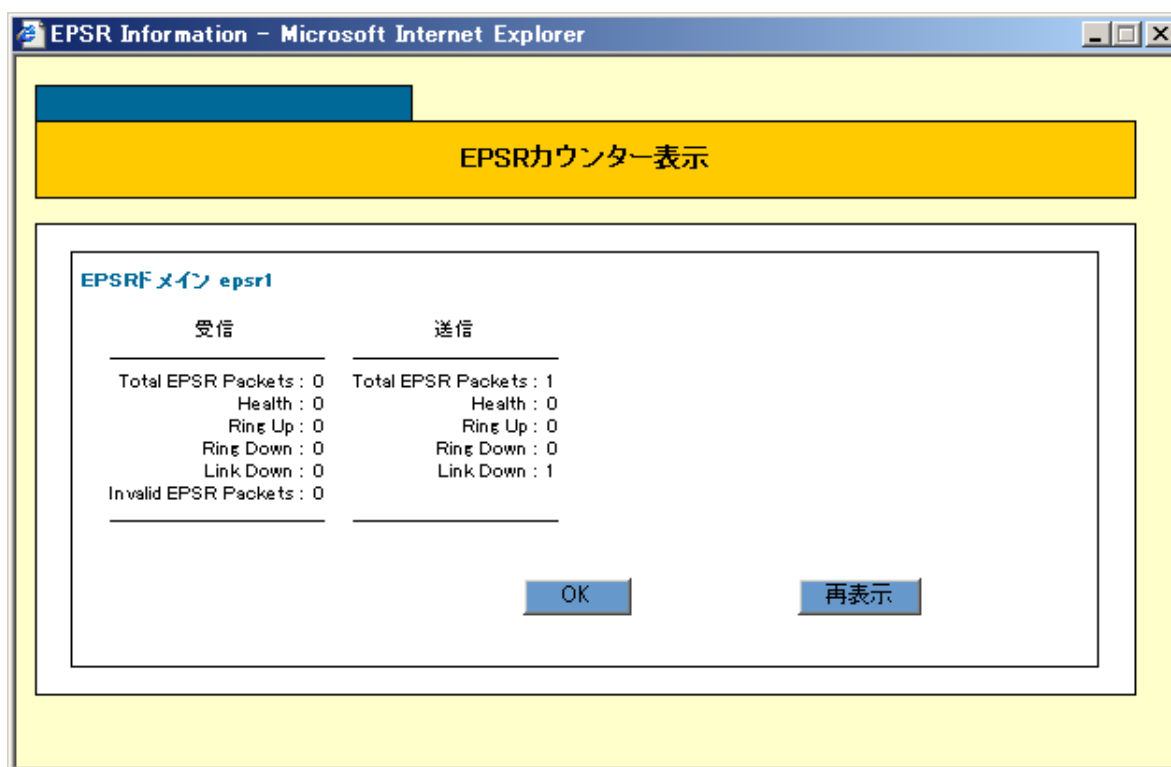


一覧からカウンターを表示する EPSR ドメインにチェックを付け、「カウンター表示」ボタンをクリックすると、選択した EPSR ドメインのカウンターが表示されます。

EPSR カウンター表示

EPSR ドメインの統計統計カウンターが表示されます。

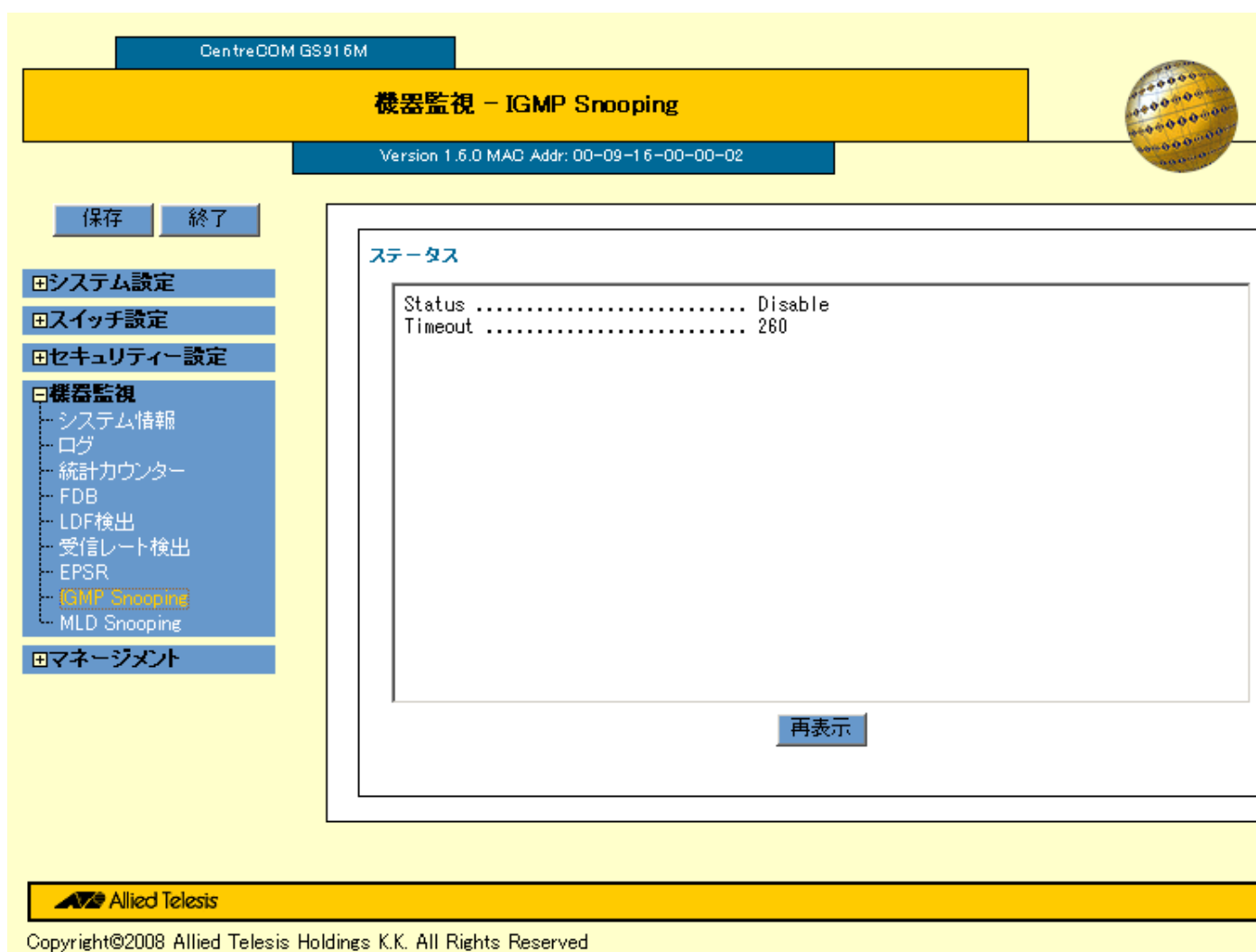
表示される項目については、SHOW EPSR COUNTER コマンド(「スイッチング」の 93 ページ)を参照してください。



IGMP Snooping

IGMP Snooping の設定を表示します。

表示される項目については、SHOW IGMP Snooping コマンド (「IGMP Snooping」の 12 ページ) を参照してください。



The screenshot shows the '機器監視 - IGMP Snooping' (Device Monitoring - IGMP Snooping) page of the CentreCOM GS916M web interface. The top header bar is yellow and contains the device name 'CentreCOM GS916M' on the left, the title '機器監視 - IGMP Snooping' in the center, and a version/addr string 'Version 1.6.0 MAC Addr: 00-09-16-00-00-02' on the right. A small globe icon is in the top right corner. Below the header, there are two buttons: '保存' (Save) and '終了' (End). A left sidebar menu lists various settings: 'システム設定' (System Settings), 'スイッチ設定' (Switch Settings), 'セキュリティ設定' (Security Settings), '機器監視' (Device Monitoring) - which is expanded to show 'システム情報' (System Information), 'ログ' (Log), '統計カウンター' (Statistics Counter), 'FDB', 'LDF検出' (LDF Detection), '受信レート検出' (Receive Rate Detection), 'EPSR', 'IGMP Snooping' (highlighted in yellow), and 'MLD Snooping', and 'マネージメント' (Management). The main content area is titled 'ステータス' (Status) and displays the following information:

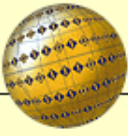
```
Status ..... Disable
Timeout ..... 280
```

Below this information is a '再表示' (Refresh) button. At the bottom of the page, there is a yellow footer bar with the Allied Telesis logo and the text 'Copyright©2008 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved'.

MLD Snooping

MLD Snooping の設定を表示します。

表示される項目については、SHOW MLDSNOOPING コマンド (「MLD Snooping」の 18 ページ) を参照してください。



CentreCOM GS916M

機器監視 - MLD Snooping

Version 1.6.0 MAC Addr: 00-09-16-00-00-02

保存

終了

ステータス

MLD Snooping Status Disable
Host/Router Timeout Interval 260 seconds
Router Port(s) Manual Select

Host List:
Number of MLD Multicast Groups: 0

MulticastGroup	VLAN ID	Port/ TrunkID	HostIP	Exp Time

再表示

+ システム設定


+ スイッチ設定

+ セキュリティ設定

+ 機器監視

- システム情報
- ログ
- 統計カウンター
- FDB
- LDF検出
- 受信レート検出
- EPSR
- IGMP Snooping
- MLD Snooping

+ マネージメント

 Allied Telesis

Copyright©2008 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

マネージメント

ポートリセット

スイッチポートをリセットします。リセットを実行すると、オートネゴシエーションプロセスを開始し、ポートの統計カウンタをクリアします。

CentreCOM GS916M

マネージメント - ポートリセット

Version 1.6.0 MAD Addr: 00-09-16-00-00-02

保存 終了

☐ システム設定
☐ スイッチ設定
☐ セキュリティ設定
☐ 機器監視
☒ マネージメント

☐ ポートリセット
☐ コンフィグファイル
☐ ファイル管理
☐ 再起動

リセットポート選択 (※FDBダイナミックエントリ、統計カウンタ等もクリアされます)

ポート(Ports)

1	3	5	7	9	11	13	15
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	4	6	8	10	12	14	16
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

設定 リセット

Allied Telesis

Copyright©2008 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

リセットポート選択

リセットするポート番号にチェックを付けます。
 「設定」ボタンをクリックすると、選択したポートがリセットされます。

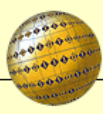
コンフィグファイル

現在の設定内容（メモリー上の設定内容）を保存するスクリプトファイルに関する設定を行います。
 コンフィグレーションの詳細については、「運用・管理」/「コンフィグレーション」をご覧ください。
 「運用・管理」/「コンフィグレーション」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも同じことができます。

CentreCOM GS916M

マネージメント - コンフィグファイル

Version 1.6.0 MAC Addr: 00-09-16-00-00-02



保存
終了

システム設定

スイッチ設定

セキュリティ設定

機器監視

マネージメント

ポートリセット

コンフィグファイル

ファイル管理

再起動

設定ファイル

起動時設定ファイル

test.cfg

起動時設定ファイル変更

test.cfg

カレント設定ファイル

test.cfg

設定

リセット

設定保存

☒ 起動時設定ファイルに保存する

☐ 既存ファイルに保存する

test.cfg

☐ 新規ファイルに保存する

ファイル名


保存

リセット

設定表示

☒ 現在の設定内容を表示する(Dynamic)

表示



Copyright©2008 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

設定ファイル

起動時に読み込まれるデフォルトの設定ファイル（起動時設定ファイル）を指定します。

「起動時設定ファイル」には、次回起動時に実行される設定ファイル名が表示されます。

起動時設定ファイルを変更したい場合は、「起動時設定ファイル変更」のリストから、変更したい設定ファイルを選択し、「設定」ボタンをクリックします。

「カレント設定ファイル」には、今回の起動時に実行された設定ファイル名が表示されます。

設定保存

現在の設定内容（メモリー上の設定内容）をスクリプトファイルに保存します。

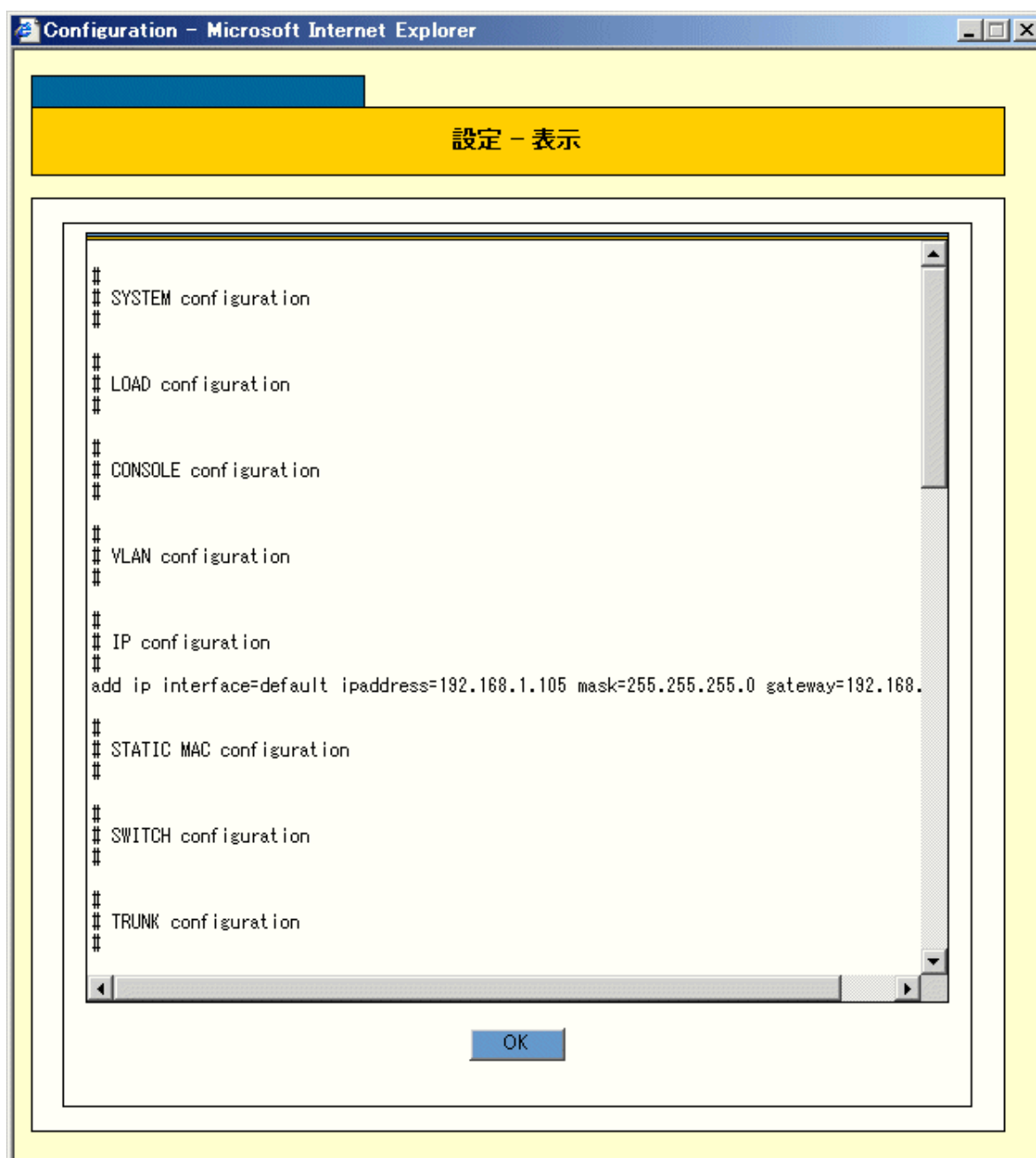
次の3つの保存方法の中から1つを選択し、「設定」ボタンをクリックすると、現在の設定内容が設定ファイルに保存されます。

- 「起動時設定ファイルに保存する」:「起動時設定ファイル」に設定されている設定ファイルに、設定を保存

- 「既存ファイルに保存する」: 選択したファイルに設定を保存
- 「新規ファイルに保存する」: ファイルを新規に作成し、設定を保存

設定表示

「表示」ボタンをクリックすると、現在の設定内容（メモリー上の設定内容）を設定ファイルと同じ形式で表示されます。



ファイル管理

ファイルシステム上のファイル一覧が表示されます。

また、設定ファイルのアップロード・ダウンロード、および、ファームウェアのダウンロードが可能です。

ファイル管理は、Internet Explorer の HTTP 機能を利用します。

また、「ポップアップをブロックする」が有効な場合、本機能を使用することはできません。

[ツール] メニューの「インターネットオプション」を選択し、「プライバシー」の「ポップアップ ブロック」の設定において、本 IP アドレスを許可する設定としてください。

- ◡ 本書では、本製品からサーバーなどへのファイルの転送をアップロード、サーバーなどから本製品へのファイル転送をダウンロードと表現します。

ファイル管理の詳細については、「運用・管理」/「ファイルシステム」をご覧ください。

「運用・管理」/「ファイルシステム」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、次の項目以外は、Web GUI でも同じことができます。

- フラッシュメモリーの初期化
- ファイルのコピー
- ファイルの削除
- 指定したファイルの内容表示

CentreCOM GS916M

マネージメント - ファイル管理

Version 1.6.0 MAC Addr: 00-09-16-00-00-02

保存 終了

- システム設定
- スイッチ設定
- セキュリティ設定
- 機器監視
- マネージメント
 - ポートリセット
 - コンフィグファイル
 - ファイル管理**
 - 再起動

ファイル一覧

ファイル名	サイズ	作成日時	属性
<input type="radio"/> 01.cfg	775	2005-01-01 00:40:58	script
<input type="radio"/> 02.cfg	483	2005-01-01 03:17:17	script
<input type="radio"/> 03.cfg	483	2005-01-01 03:17:21	script
<input type="radio"/> 1.cfg	787	2005-01-01 21:32:19	script

取得 削除

設定ファイルの転送

参照...

実行

ファームウェアの更新

稼働中ファームウェア
Version 1.6.0

参照...

☐ ファームウェア更新後、自動的に再起動する

実行

Allied Telesis

Copyright©2008 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

Web GUI からのファイル管理には、次の制限があります。

- ファイル名を変更できない
- ファイル名の変更、内容を編集するには、一度設定ファイルをアップロードし、ファイル名の変更、内容の変更を行ってから、ファイルをダウンロードしてください。

ファイル一覧

ファイルシステム上のファイル一覧が表示されます。
ファイルを選択し、ファイルのアップロード、ファイルの削除が行えます。

設定ファイルの転送

設定ファイルを本製品にダウンロードできます。

ファームウェアの更新

本製品にファームウェアをダウンロードし、ファームウェアの更新を行います。

再起動

システムの再起動確認のダイアログボックスが表示されます。
「OK」ボタンをクリックすると、システムが再起動されます。
「キャンセル」ボタンをクリックすると、元の設定画面に戻ります。
本製品の設定を変更した後、設定を保存しない（メニューエリアの「保存」ボタンが赤い状態）で再起動を選択すると、再起動確認のダイアログボックスに、設定が保存されていないというメッセージが表示されます。設定を保存したい場合は、「キャンセル」ボタンをクリックし、設定を保存してから、再度、再起動を行ってください。「OK」ボタンをクリックすると、設定は保存されません。

